
東浦町住民意識調査

令和4年12月

東 浦 町

はじめに

東浦町では、2019 年度から第 6 次東浦町総合計画にもとづき、「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」を目指してまちづくりを進めています。第 1 期基本計画（計画期間：2019 年度から 2023 年度）の施策・取組みの評価や次期基本計画策定に向けて、現在の東浦町に対する評価や、今後のまちづくりを進めていく上でのご意見を計画策定に役立てるため、住民の皆さんにアンケート調査を実施しました。

なお、平成 29 年度に実施したアンケート調査と比較して取りまとめています。

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 にはなりません。

【調査の概要】

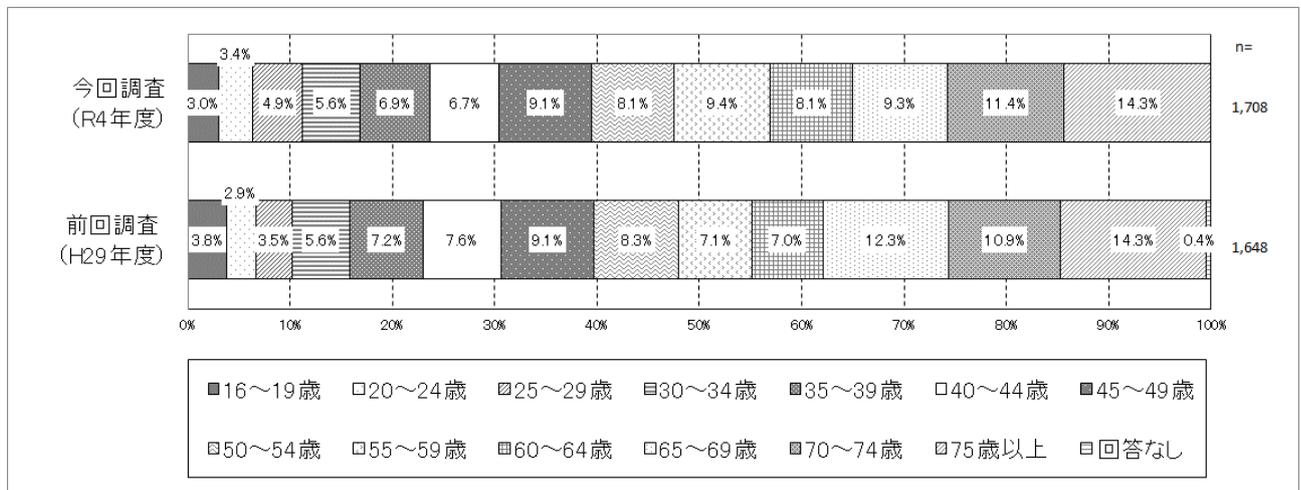
- 調査対象：東浦町在住の 16 歳以上の男女
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収及びインターネット回答（令和 4 年 6 月 6 日発送）
- 調査時期：令和 4 年 6 月 6 日から令和 4 年 6 月 30 日まで（25 日間）
- 配布数：4,000 票（前回調査：4,000 票）
- 回収数：1,708 票（前回調査：1,648 票）
- 有効回収数：1,708 票（前回調査：1,648 票）
- 有効回収率：42.7%（前回調査：41.2%）

○内訳：

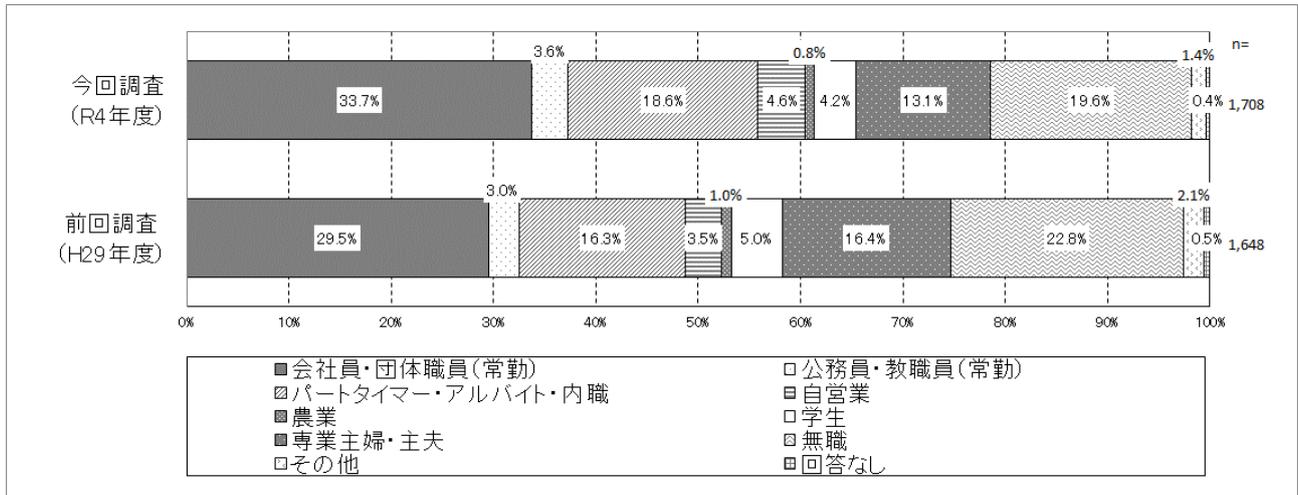
| 回収方法 | 回収数 | 回収率 |
|---------|-------|-------|
| 郵送 | 1,192 | 29.8% |
| インターネット | 516 | 12.9% |
| 合計 | 1,708 | 42.7% |

回答者のプロフィール

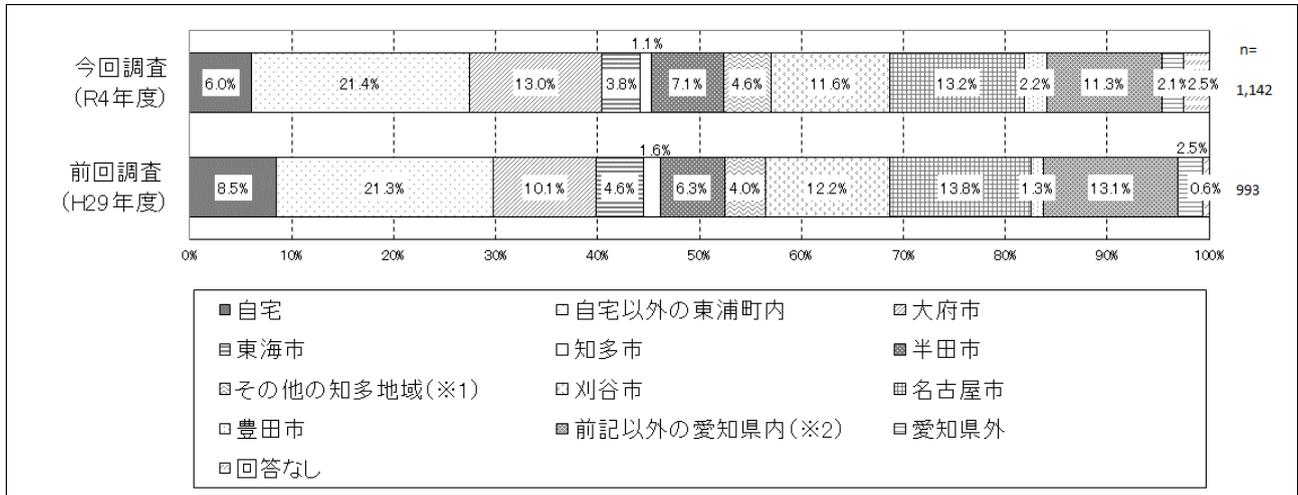
- 年齢：75 歳以上の割合が最も割合が高く、次いで 70～74 歳、55～59 歳となっており、比較的中高年の回答率が高くなっています。



○職業：「会社員・団体職員（常勤）」の割合が最も高く、次いで、「無職」、「パートタイマー・アルバイト・内職」、「専業主婦・主夫」の順になっています。



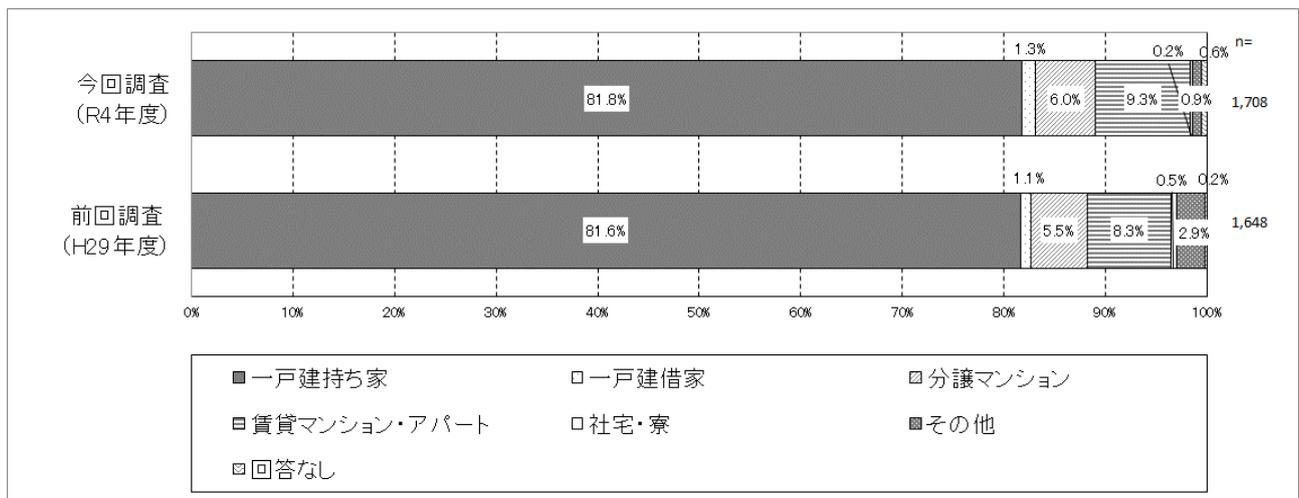
○通勤・通学先：「自宅以外の東浦町内」の割合が最も高く、次いで「名古屋市」、「大府市」、「刈谷市」と続いています。



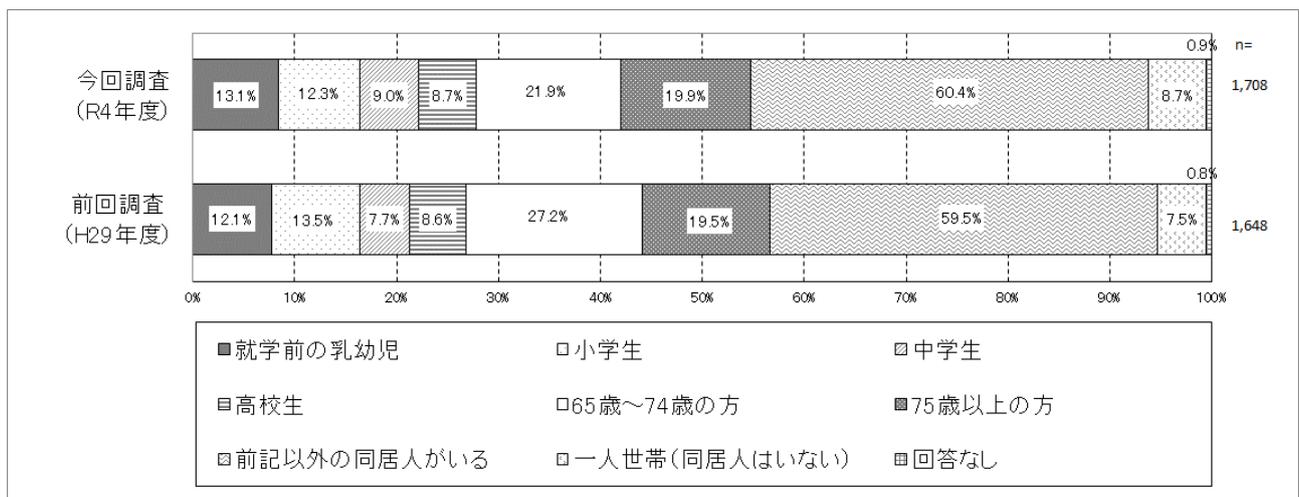
※1 「その他の知多地域」とは、常滑市、阿久比町、南知多町、美浜町及び武豊町を指します。

※2 「前記以外の愛知県内」とは、東浦町、大府市、東海市、知多市、半田市、その他の知多地域、刈谷市、名古屋市及び豊田市以外の愛知県内市町村を指します。

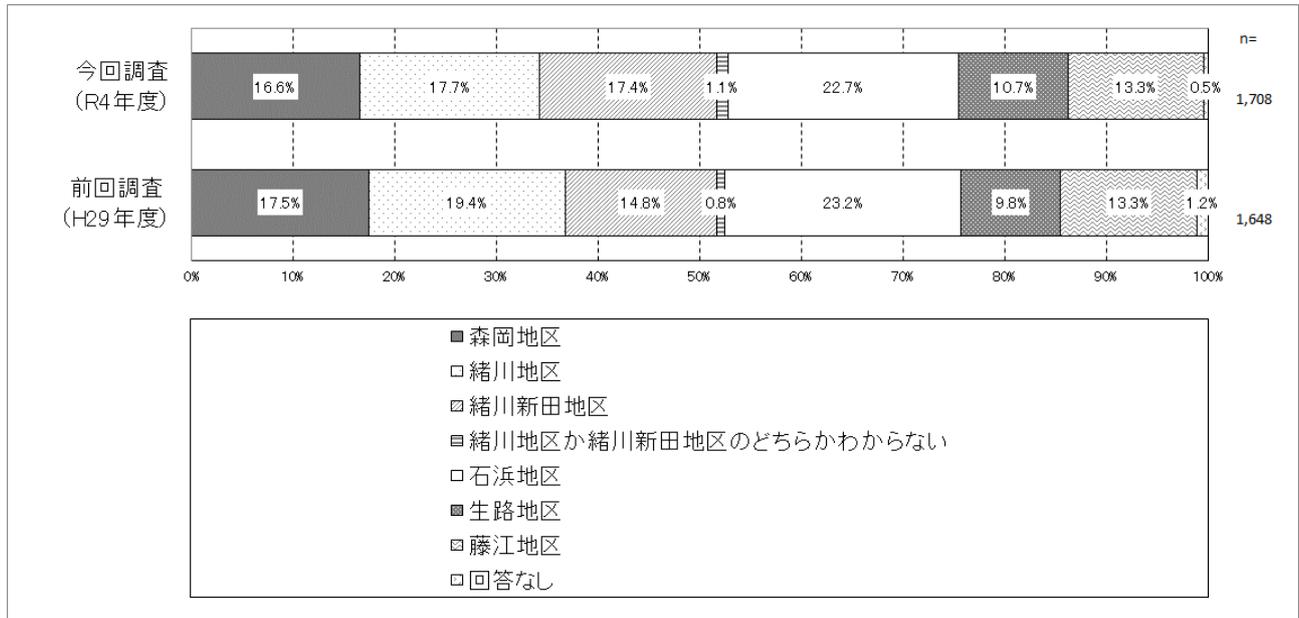
○住まいの種類：「一戸建持ち家」が最も割合が高く、次いで「賃貸マンション・アパート（県営住宅含む）」、「分譲マンション」となっています。



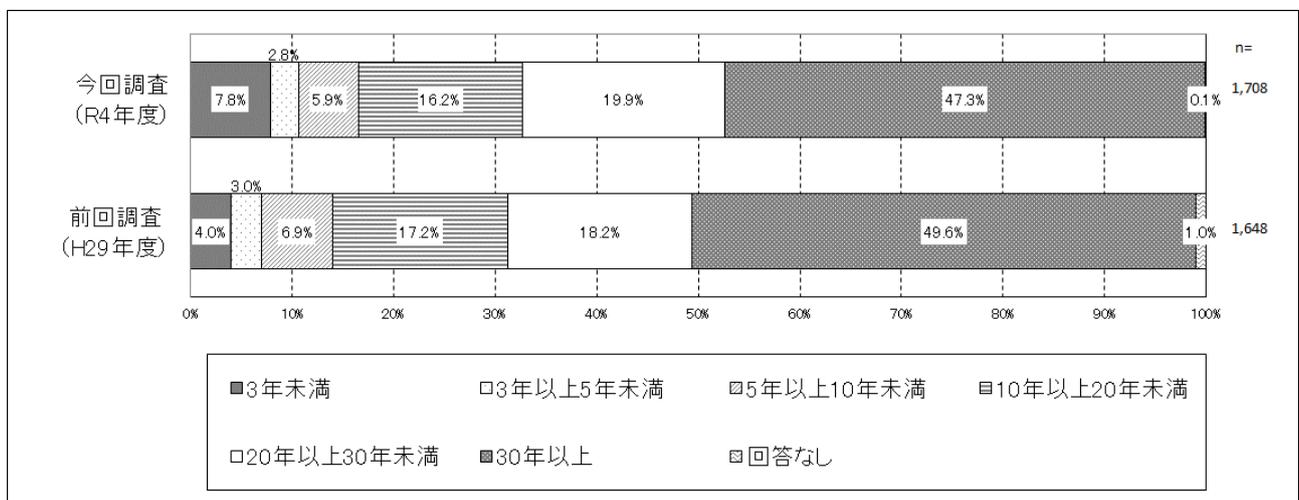
○同居人の状況：「子どもや高齢者以外の同居人がいる」が最も割合が高く、次いで「65～74歳までの方（前期高齢者）」、「75歳以上の方（後期高齢者）」となっています。



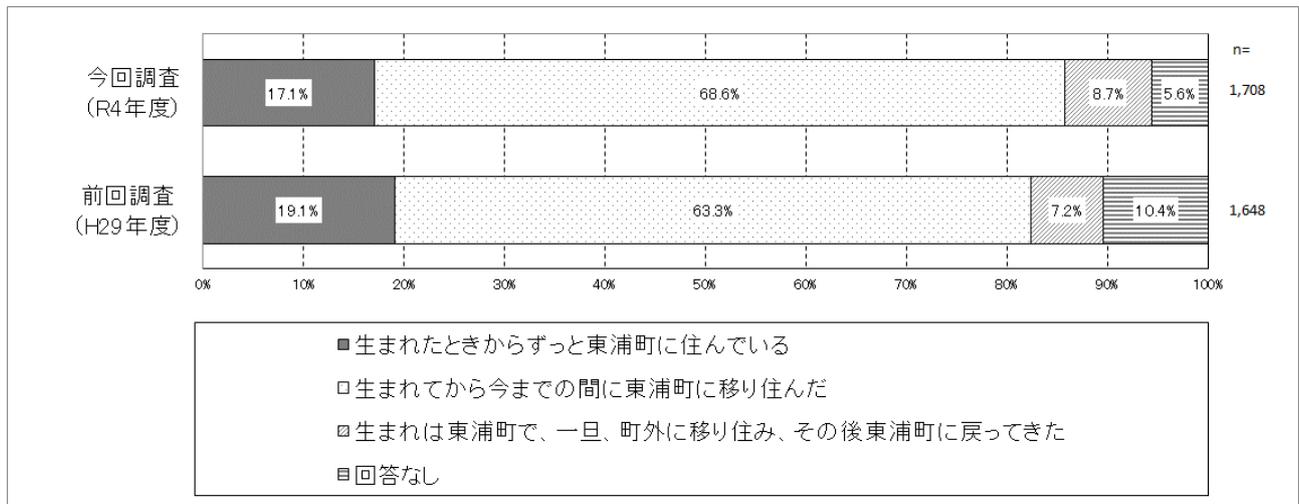
○**住まいの地区**：「石浜地区」の割合が最も高く、次いで「緒川地区」、「緒川新田地区」、「森岡地区」、「藤江地区」、「生路地区」の順になっています。



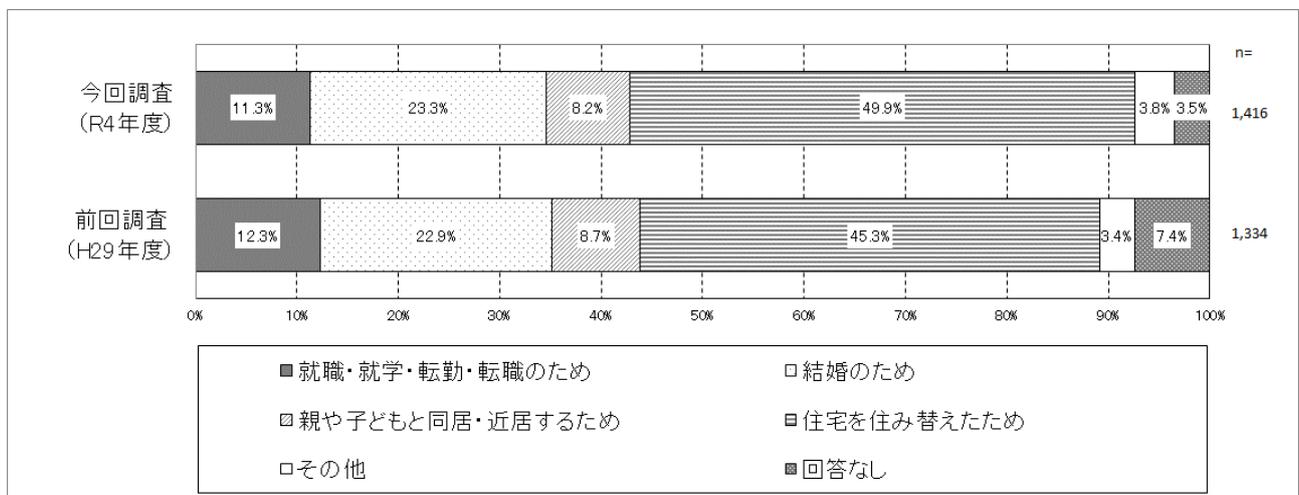
○**居住年数**：「30年以上」が約半数を占め、次いで「20年以上30年未満」、「10年以上20年未満」と、居住年数の長い回答者の割合が高くなっています。



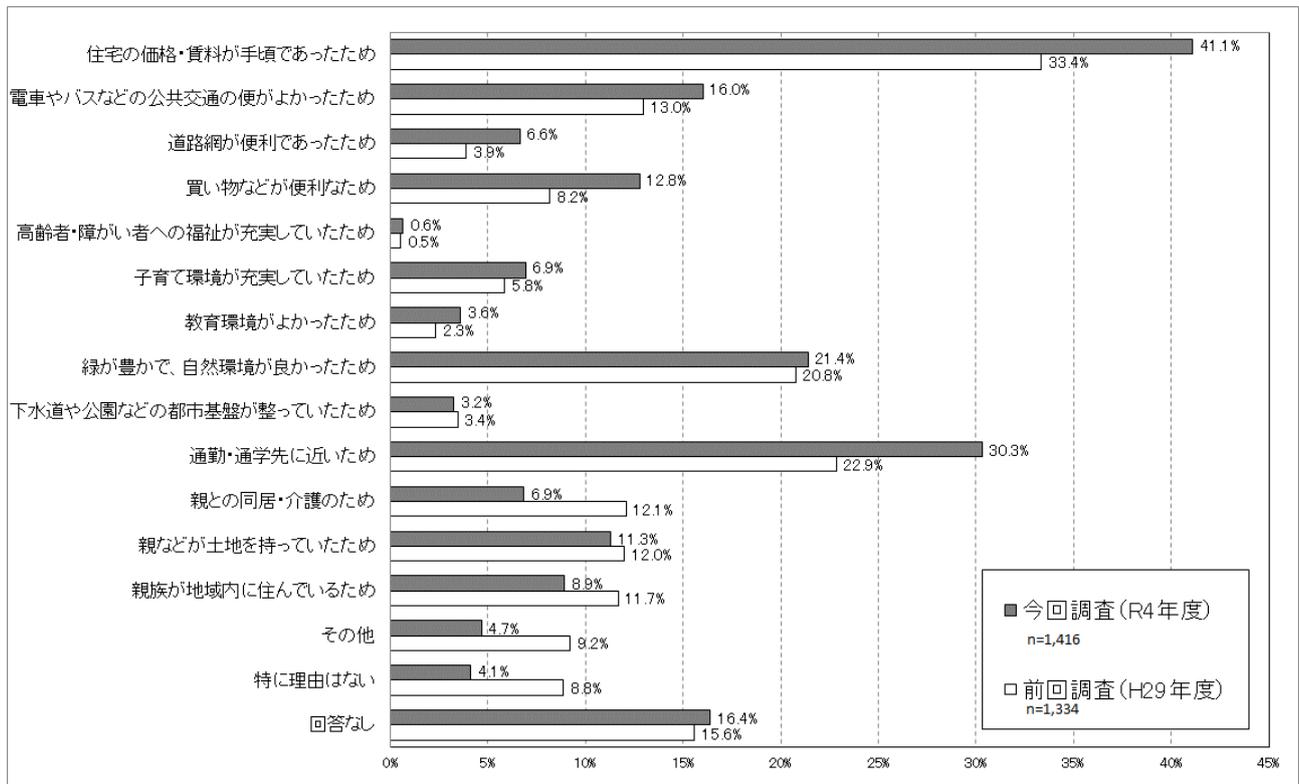
○**居住歴**：「生まれてから今までの間に東浦町に移り住んだ」が最も割合が高く、次いで、「生まれたときからずっと東浦町に住んでいる」、「生まれは東浦町で、一旦、町外に移り住み、その後東浦町に戻ってきた」の順になっています。



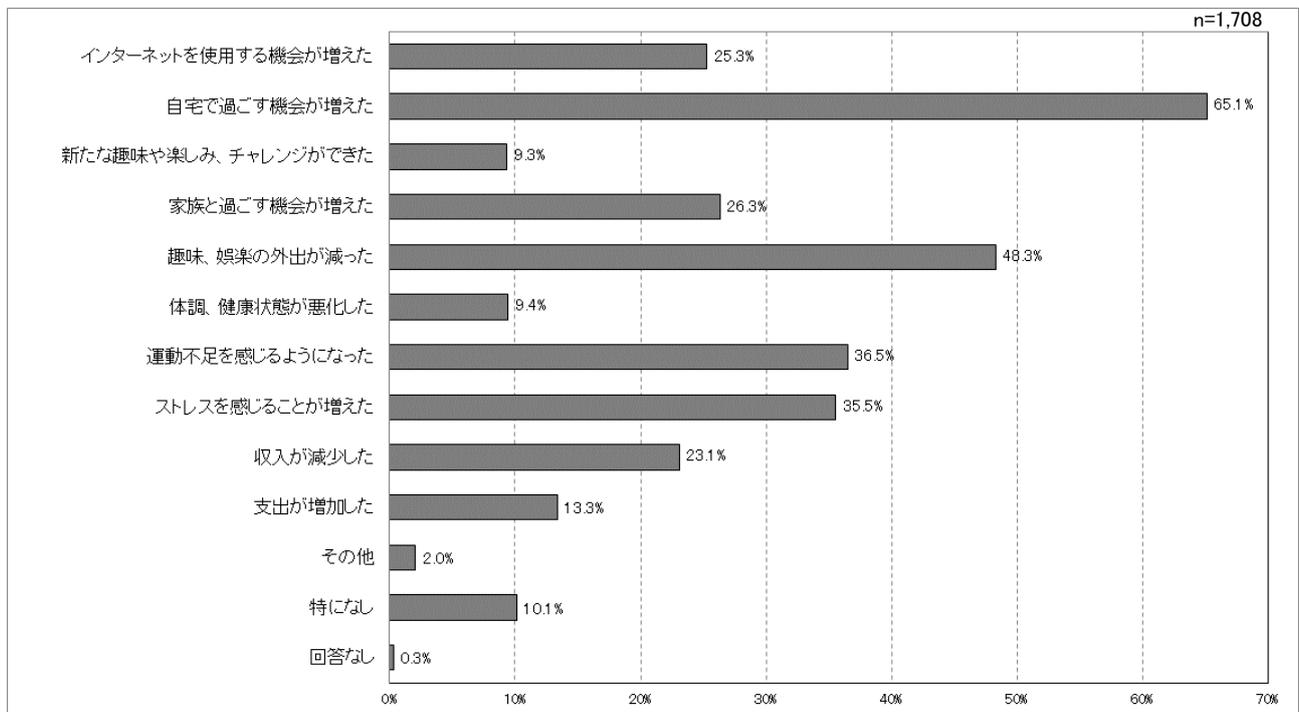
○**東浦町に移り住んだきっかけ**：「住宅を住み替えたため」の割合が最も多く、次いで「結婚のため」、「就職・就学・転勤・転職のため」の順になっています。



○東浦町に住む際に配慮したこと：多くの回答者が「住宅の価格・賃料が手頃であったため」、「通勤・通学先に近いため」、「緑が豊かで、自然環境が良かったため」を東浦町に住んだ理由としています。



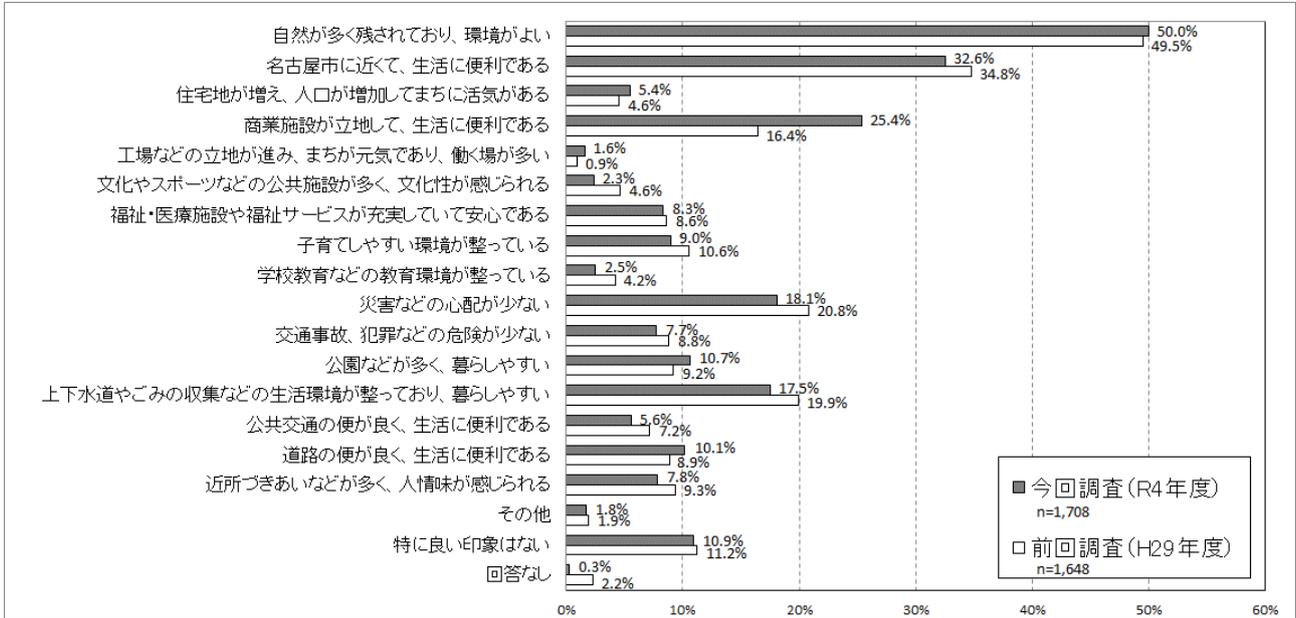
○新型コロナウイルス感染症による生活への影響：「自宅で過ごす機会が増えた」が6割以上を占め、次いで「趣味、娯楽の外出が減った」、「運動不足を感じるようになった」の順になっています。



東浦町のまちの状況

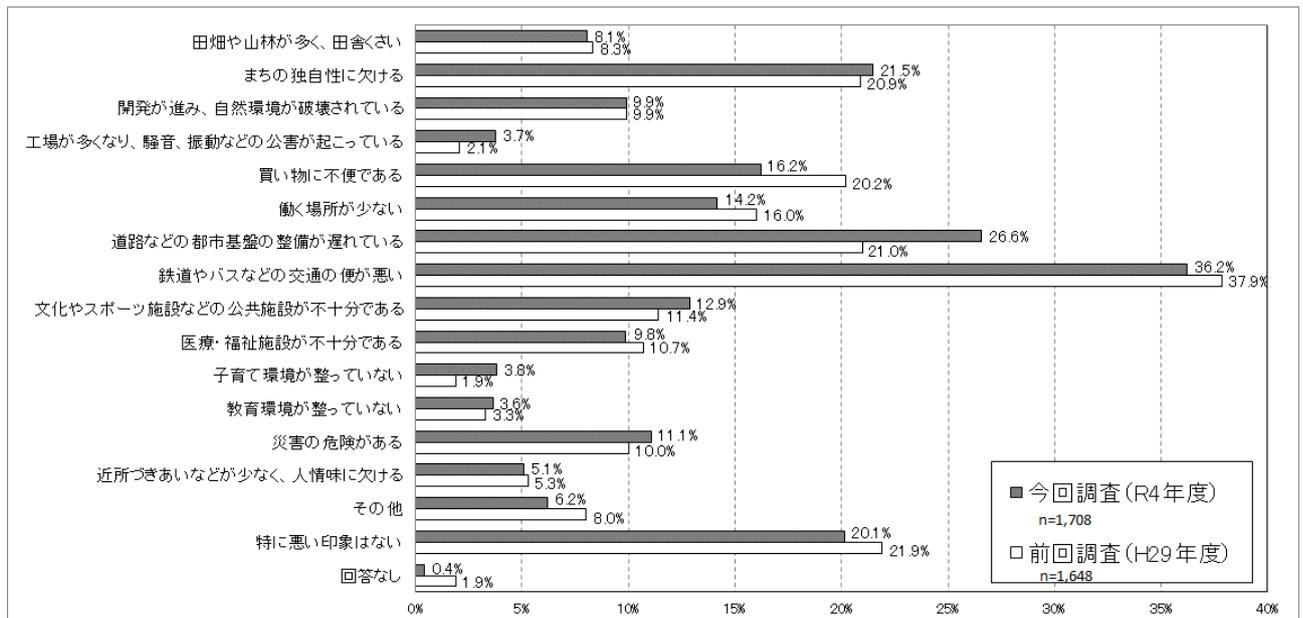
(1) 東浦町に対する良い印象

○多くの回答者が、「自然が多く残されており、環境がよい」や、「名古屋市に近くて、生活に便利である」を良い印象として持っています。



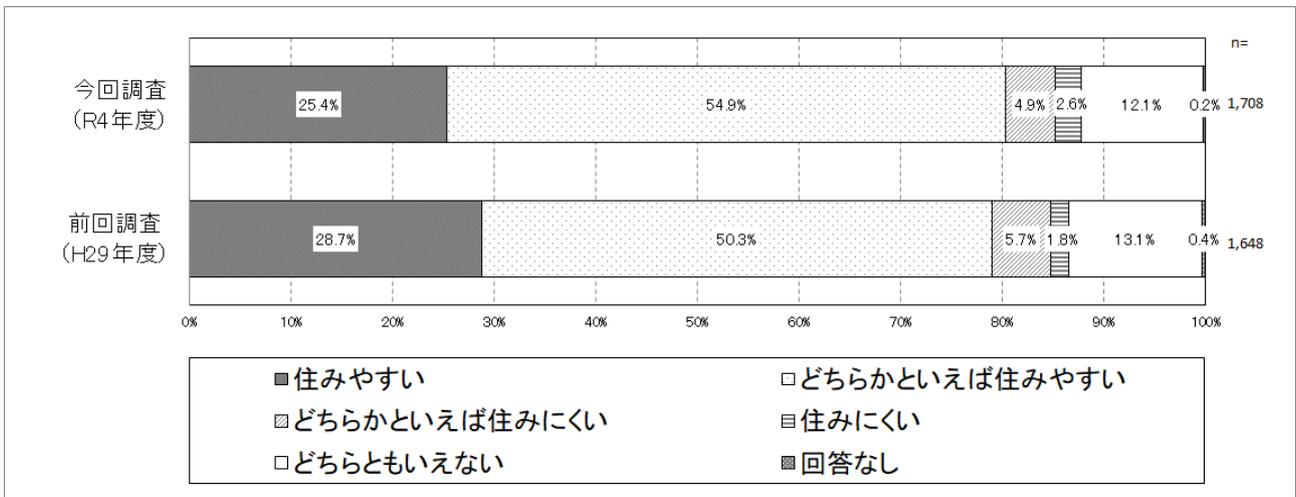
(2) 東浦町に対する悪い印象

○多くの回答者が、「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」や、「道路などの都市基盤の整備が遅れている」など、道路・交通の不便さとインフラ環境の整備の遅れに対して悪い印象を持っています。



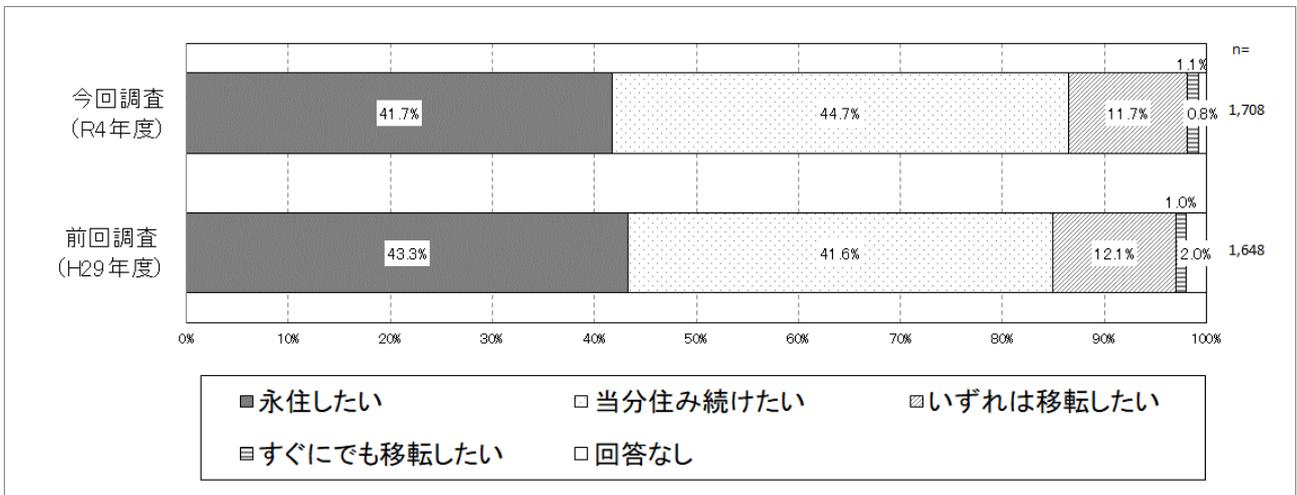
(3) 東浦町の住み心地

○「住みやすい」、または「どちらかといえば住みやすい」と感じている方は、あわせて約8割を占めています。



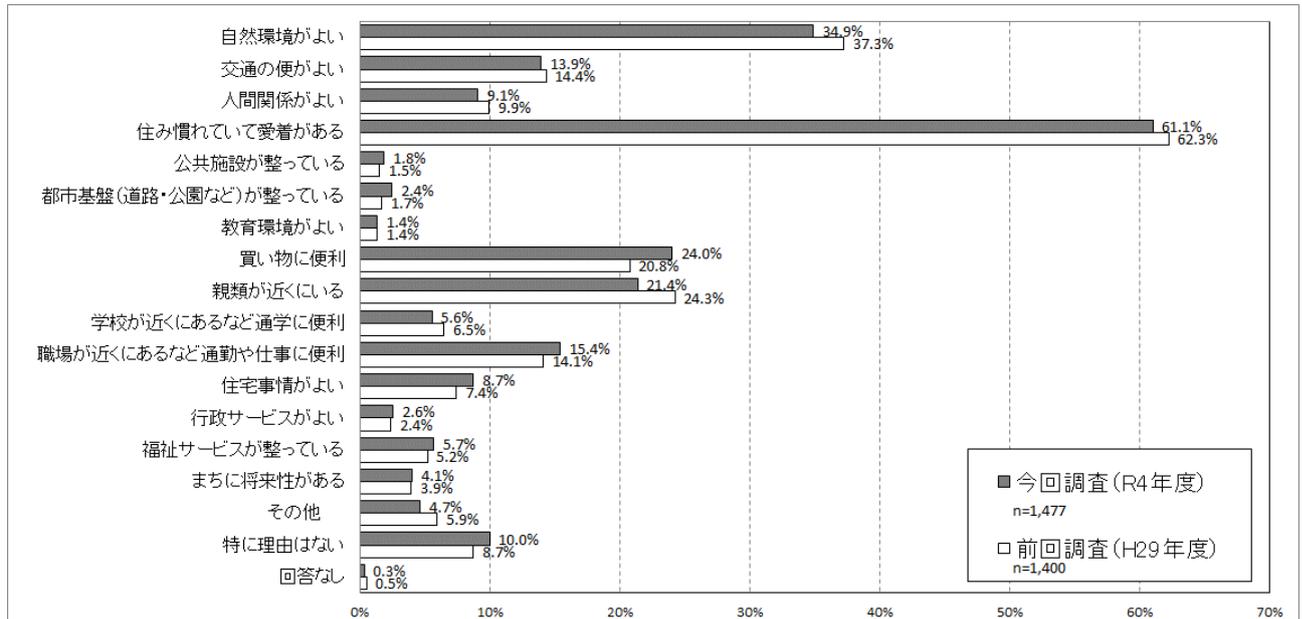
(4) 定住意向

○「永住したい」、または「当分住み続けたい」と感じている方は、あわせて約8割を占めています。



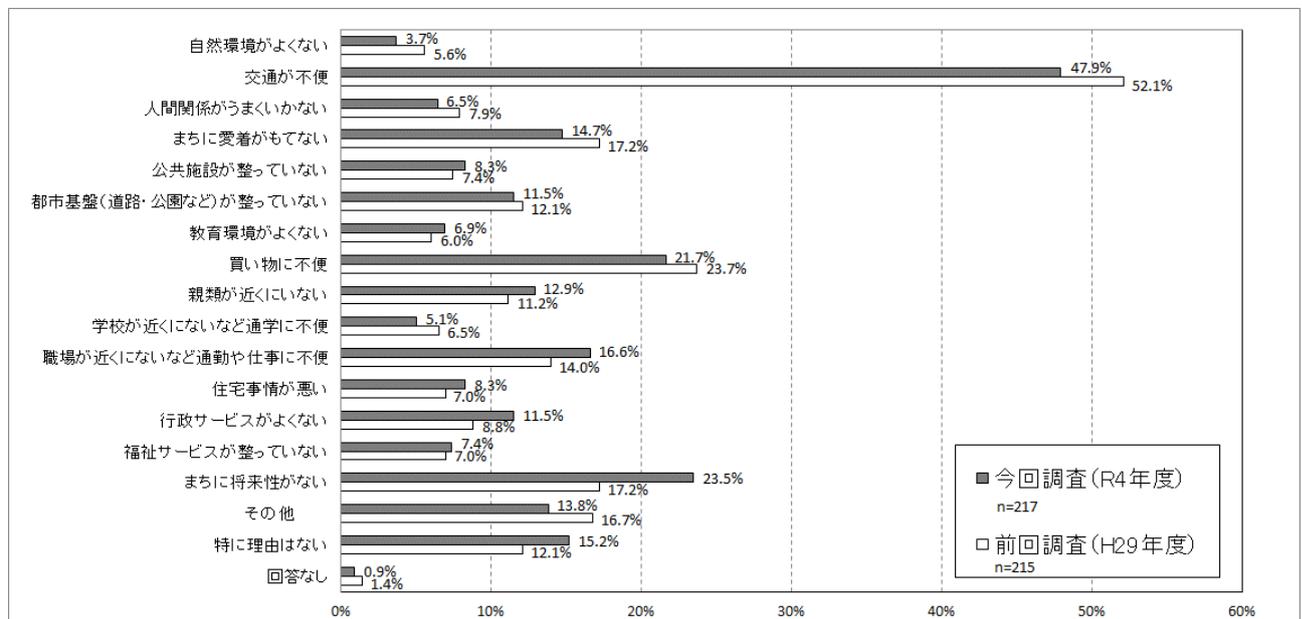
(5) 住み続けたい理由 (定住意向のある 1,477 名対象)

○定住したい理由として「住み慣れていて愛着がある」、「自然環境がよい」と考えている方が多くを占めています。



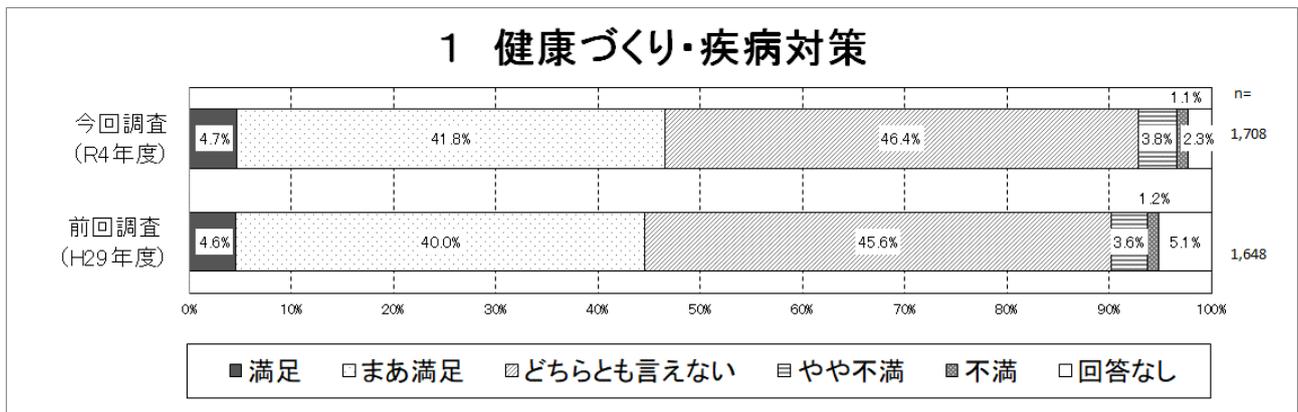
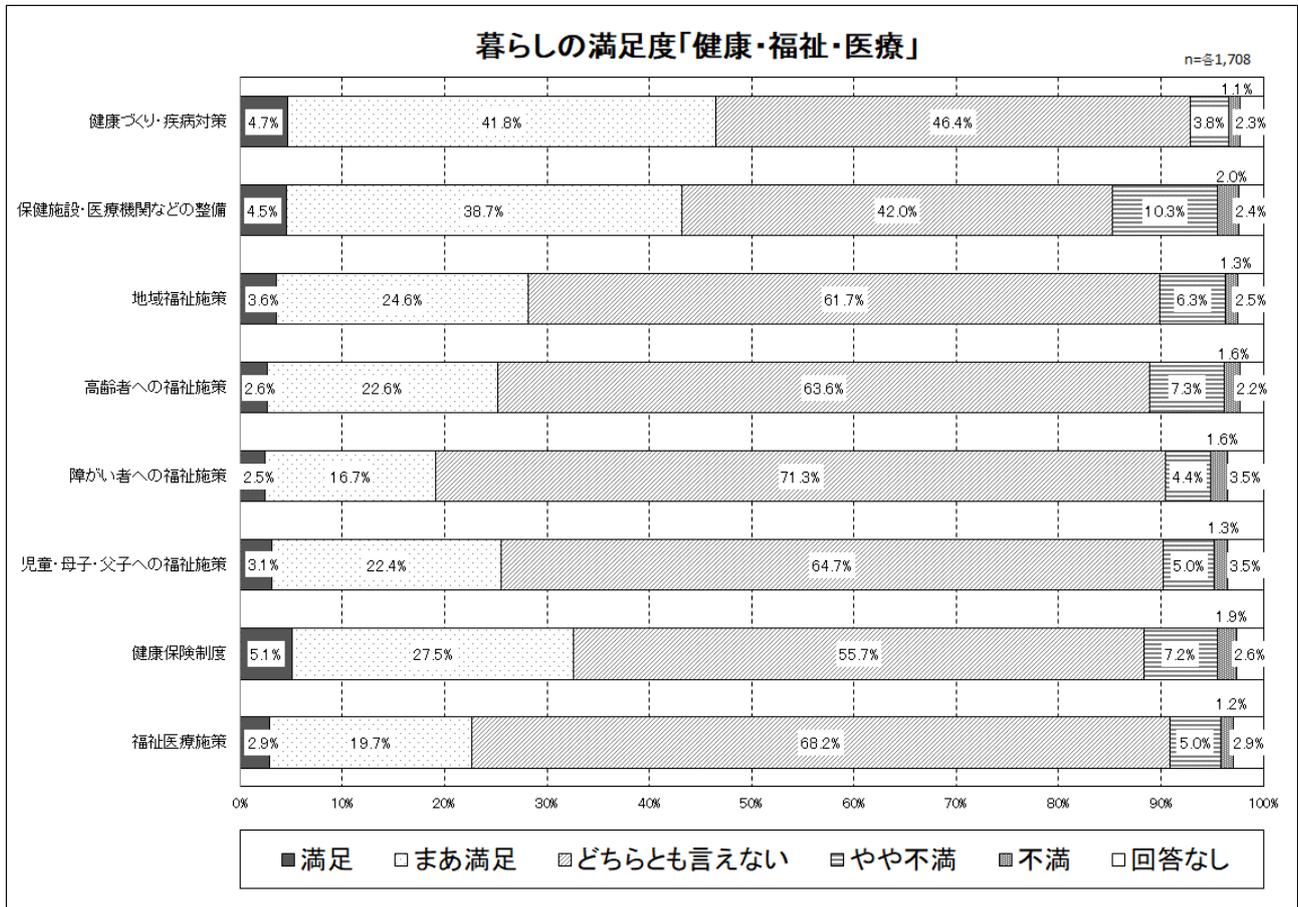
(6) 移転したい理由 (移転意向のある 217 名対象)

○移転したい理由として、「交通が不便」、「まちに将来性がない」、「買い物に不便」、「職場が近くにないなど通勤や仕事に不便」と考えている方が多くを占めています。

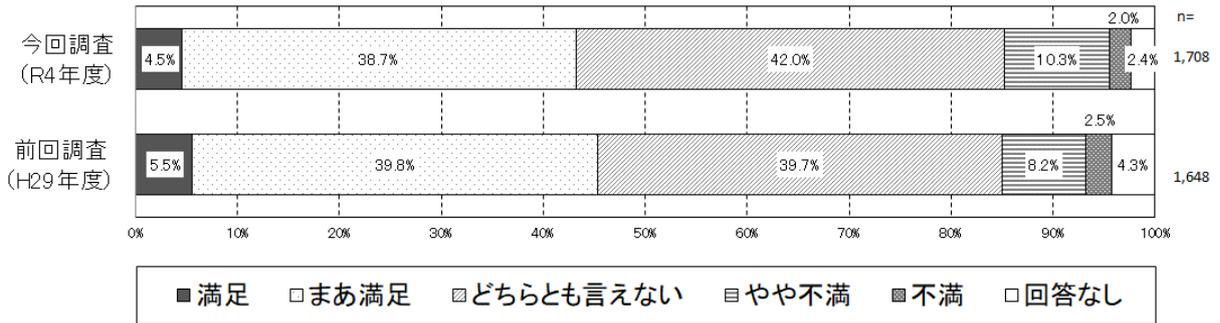


東浦町の暮らしの満足度とまちづくりの改善度

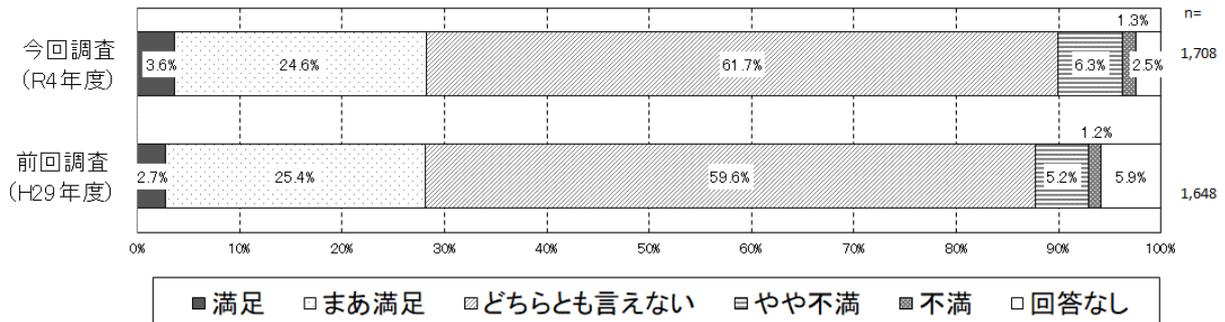
(1) 暮らしの満足度



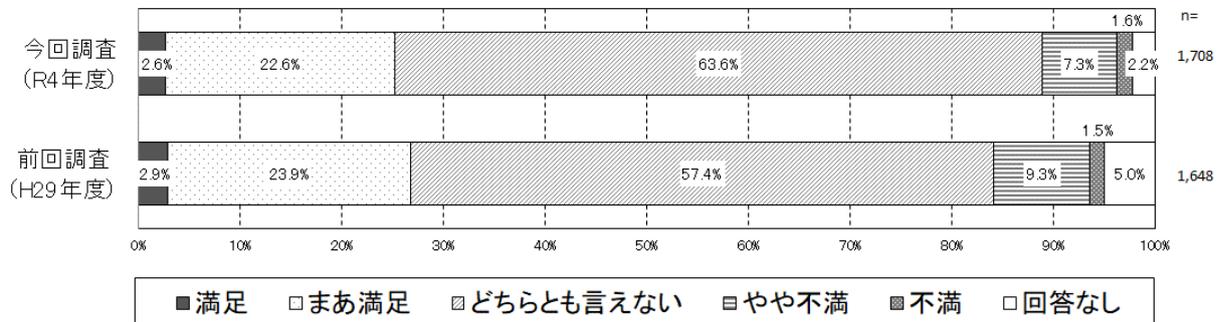
2 保健施設・医療機関などの整備



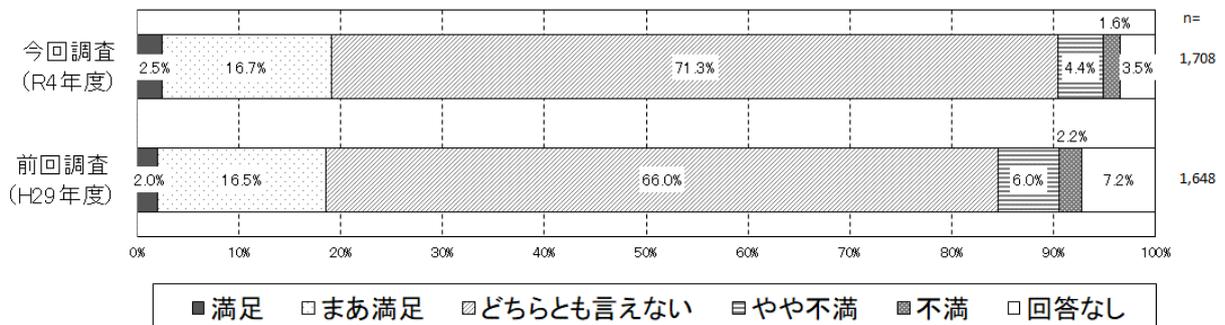
3 地域福祉施策



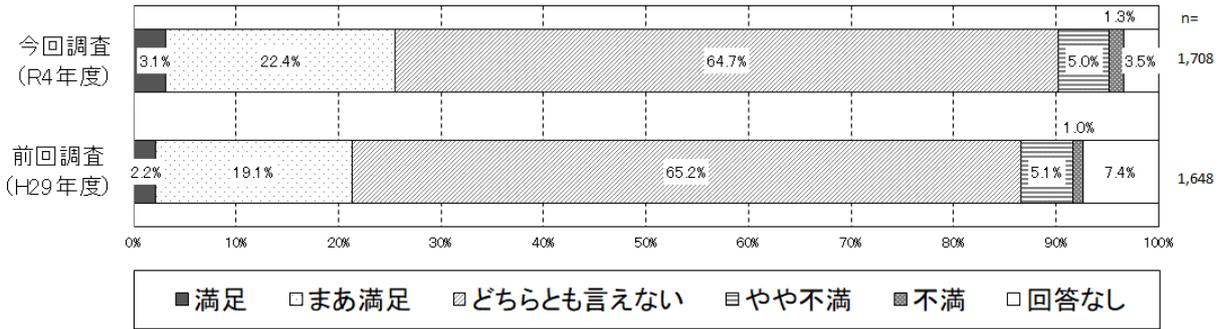
4 高齢者への福祉施策



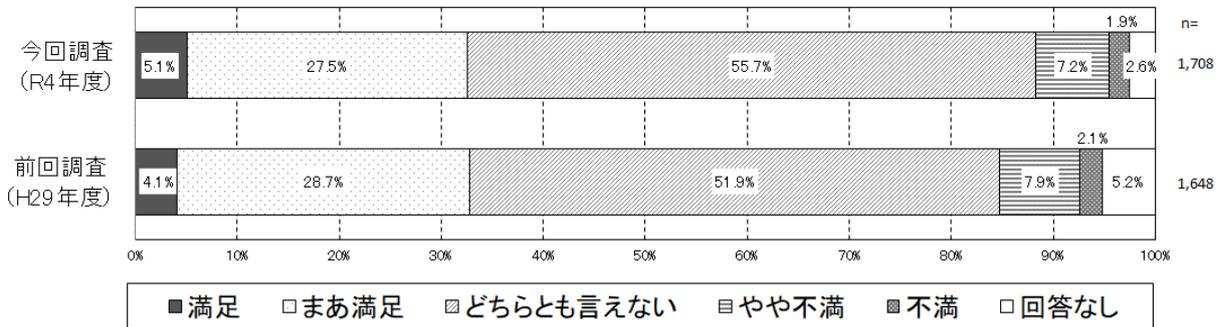
5 障がい者への福祉施策



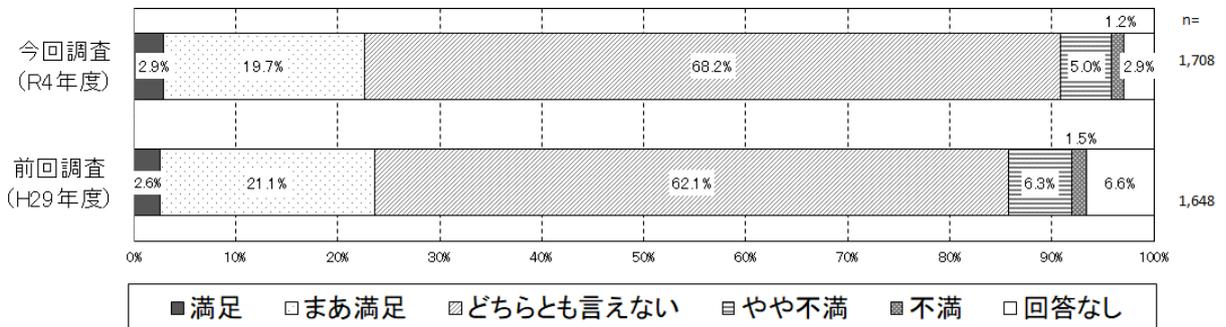
6 児童・母子・父子への福祉施策

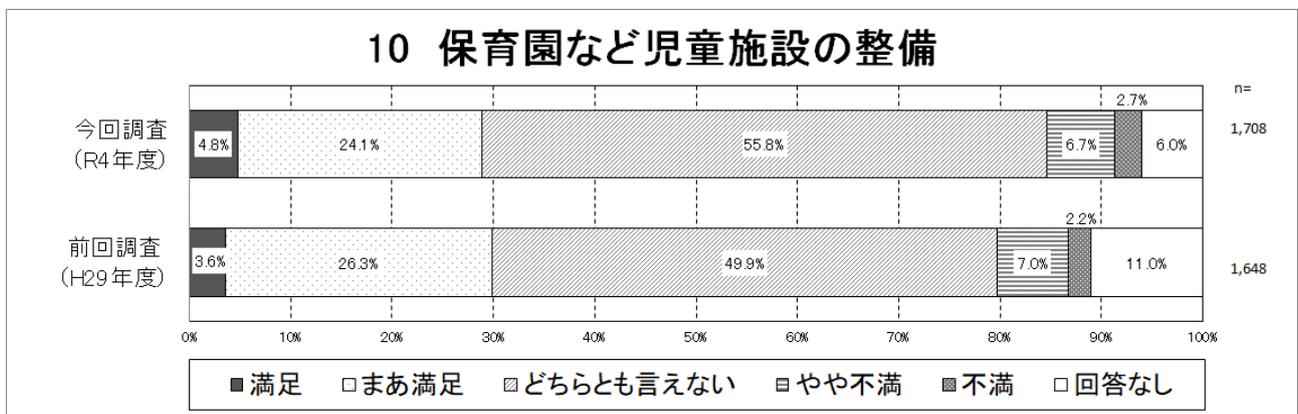
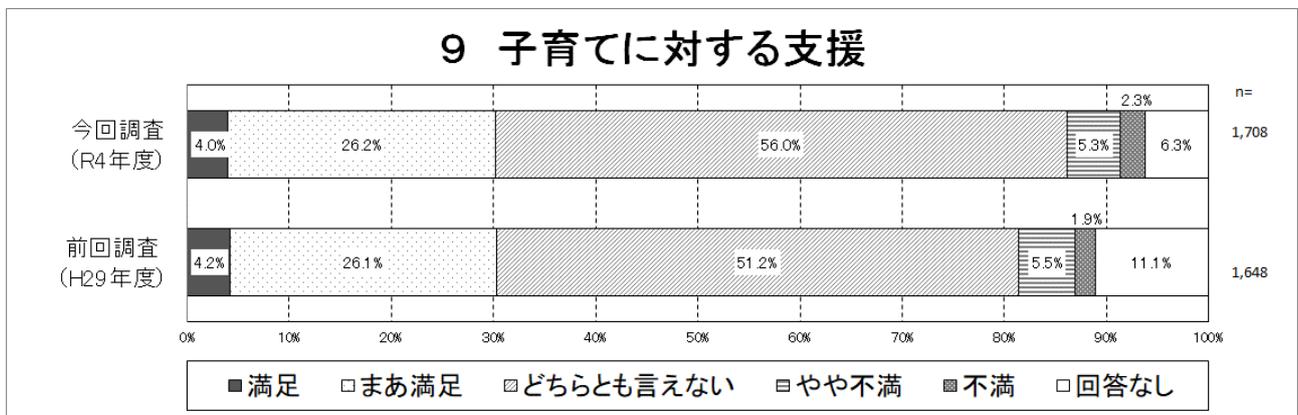
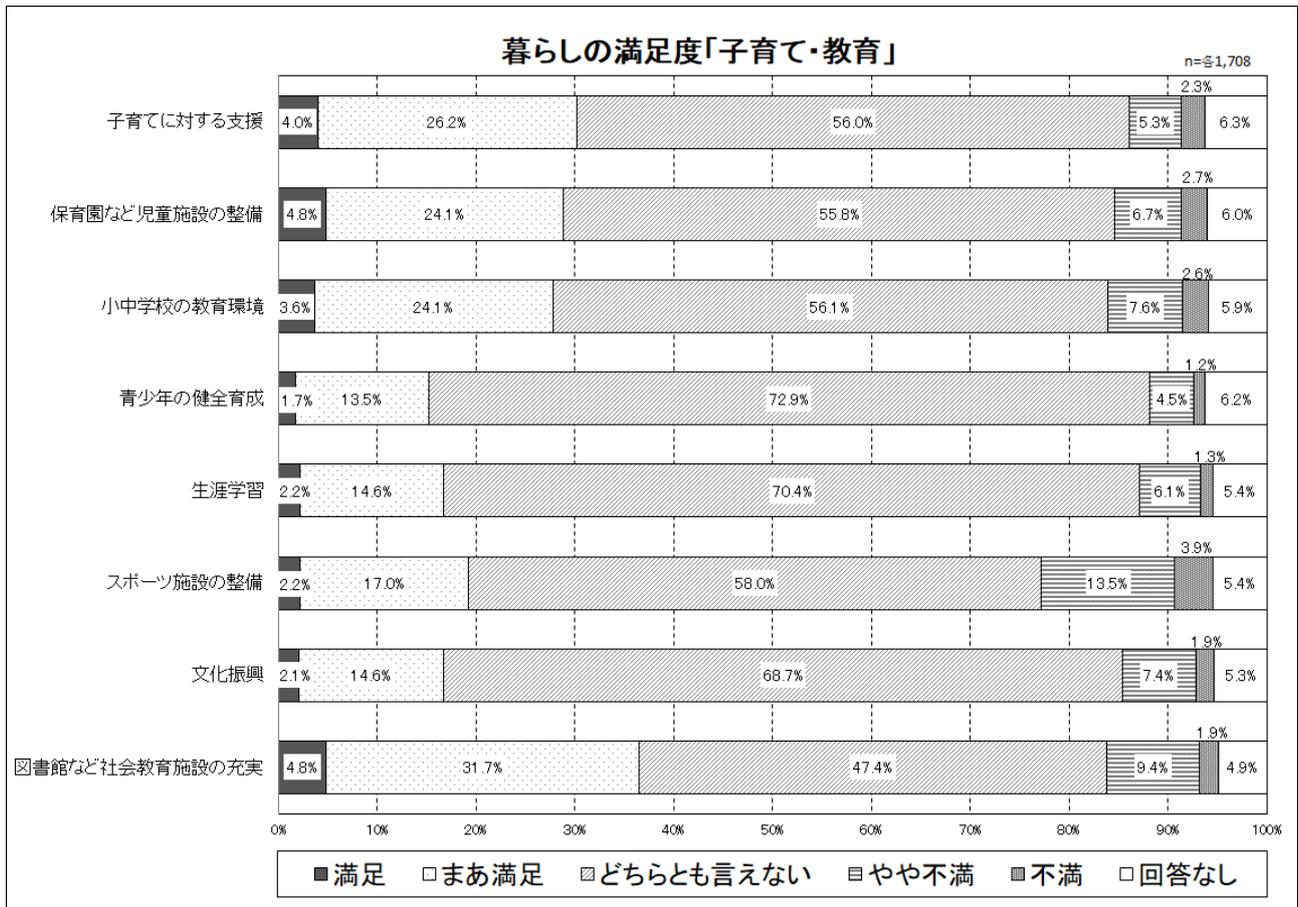


7 健康保険制度

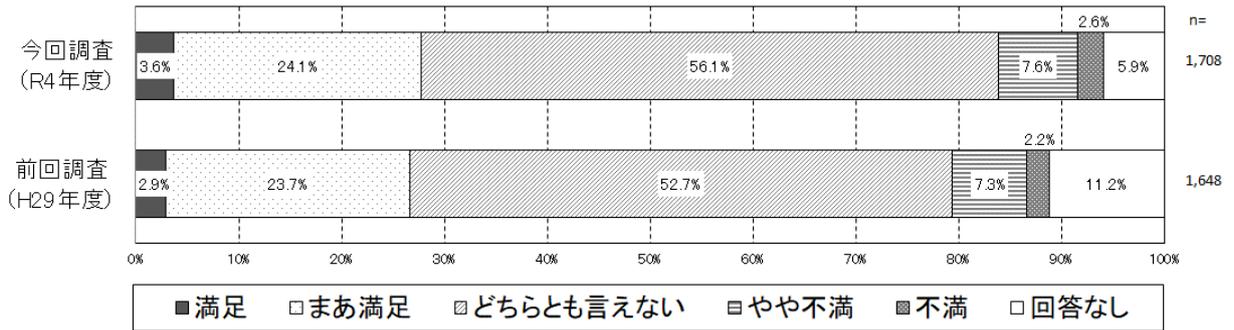


8 福祉医療施策

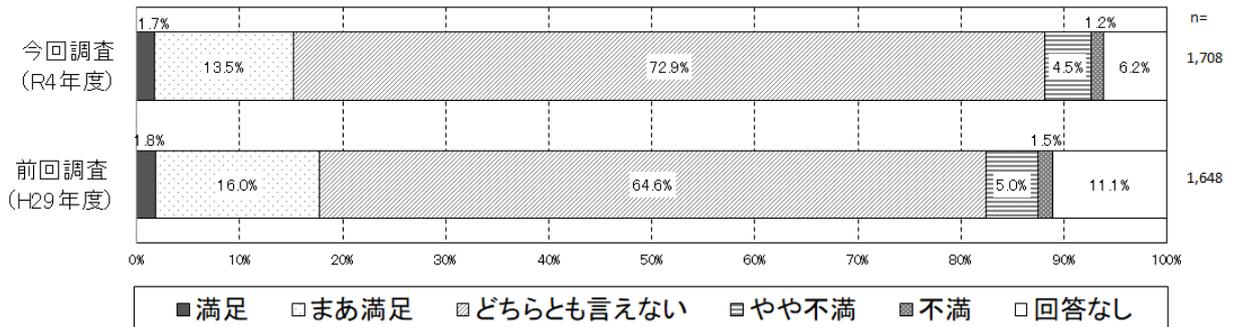




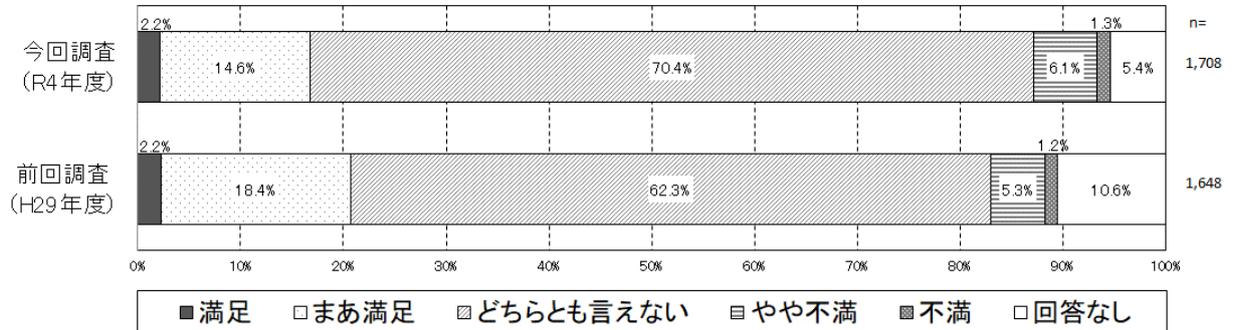
11 小中学校の教育環境



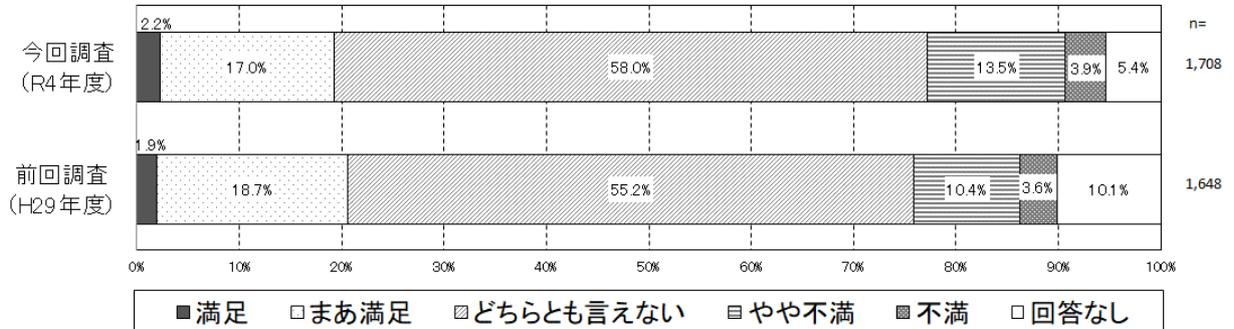
12 青少年の健全育成



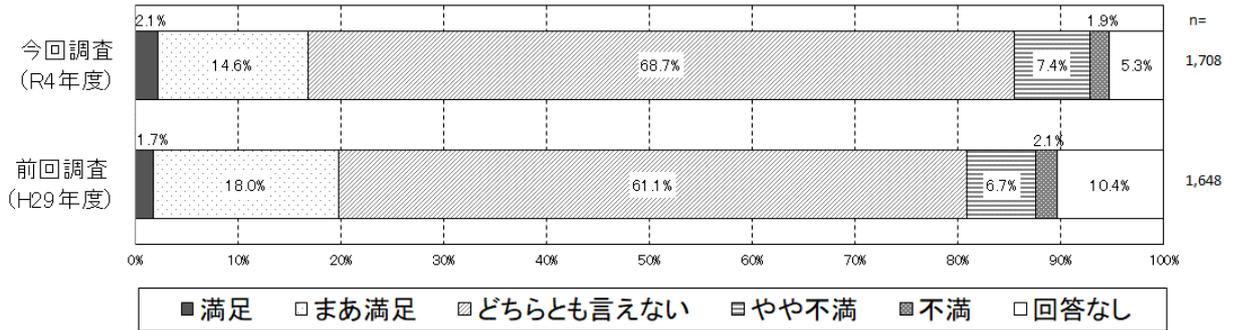
13 生涯学習



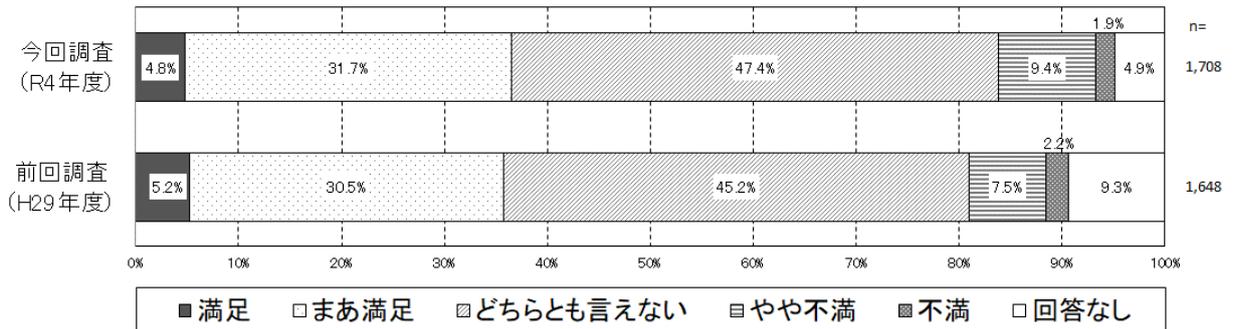
14 スポーツ施設の整備



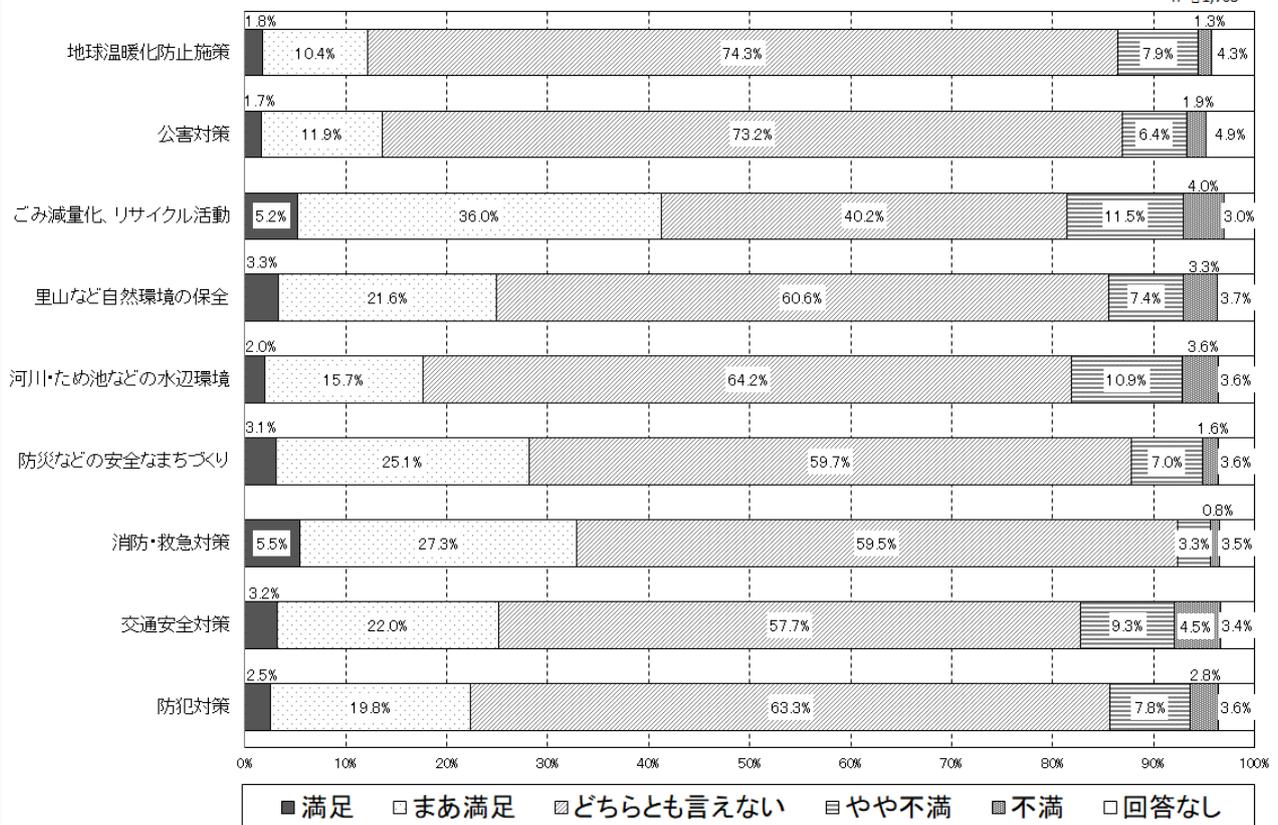
15 文化振興



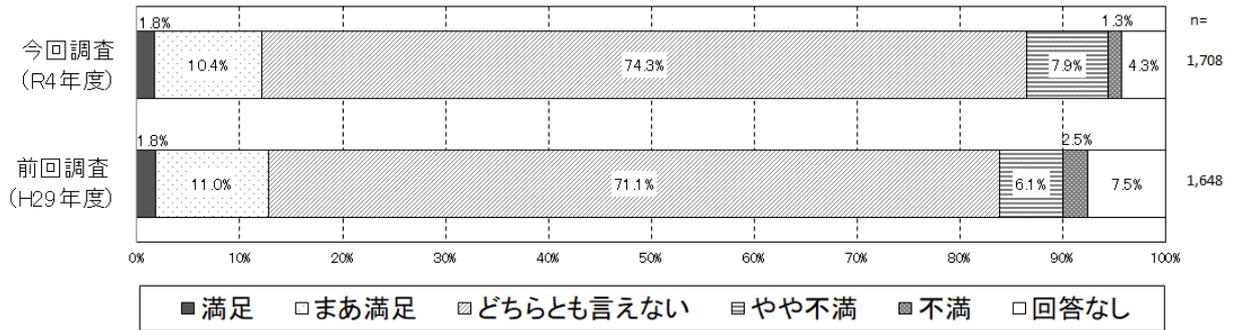
16 図書館など社会教育施設の充実



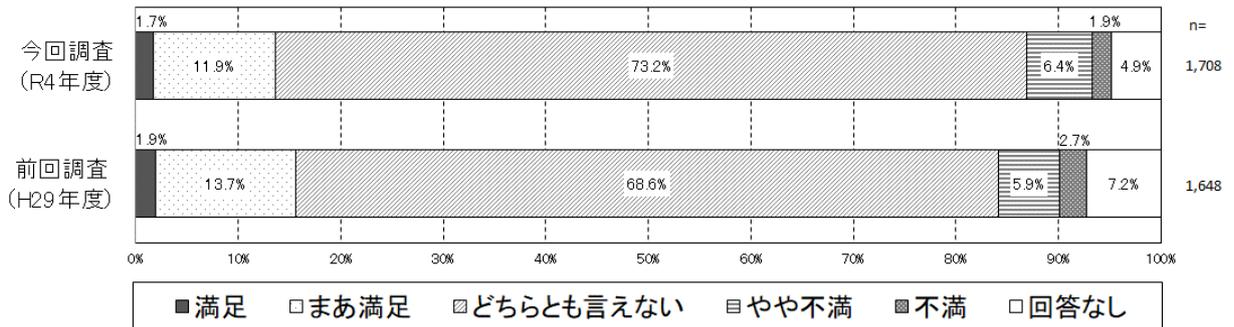
暮らしの満足度「環境・防災・防犯」



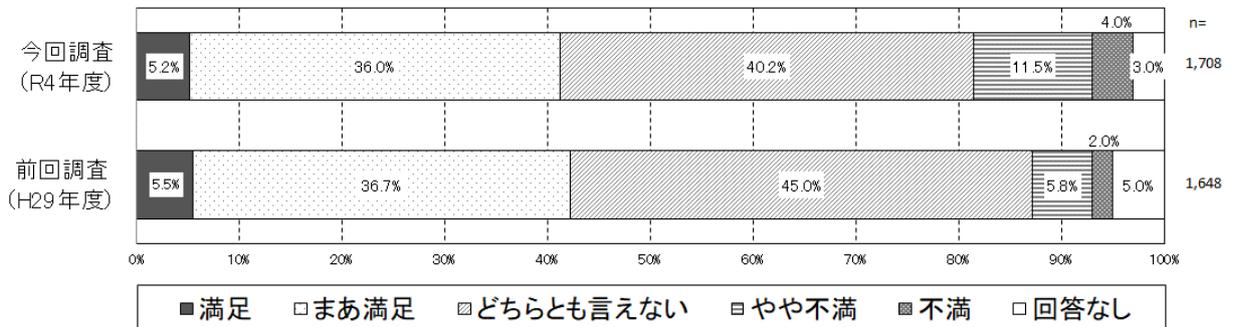
17 地球温暖化防止施策



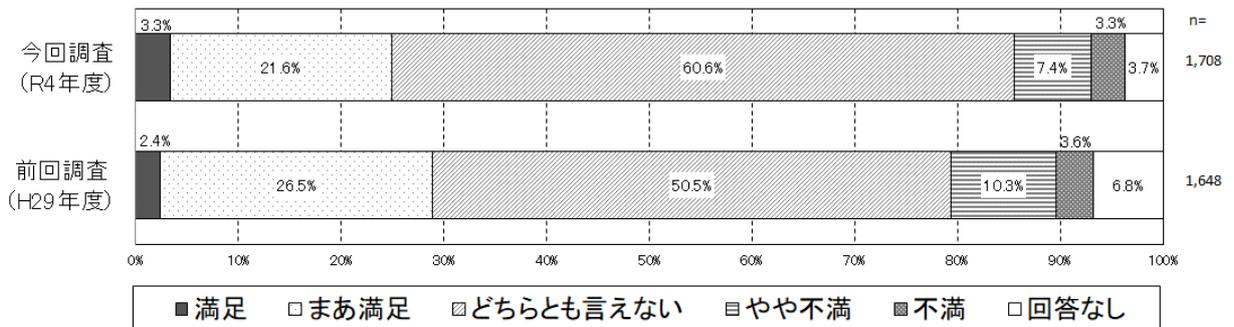
18 公害対策



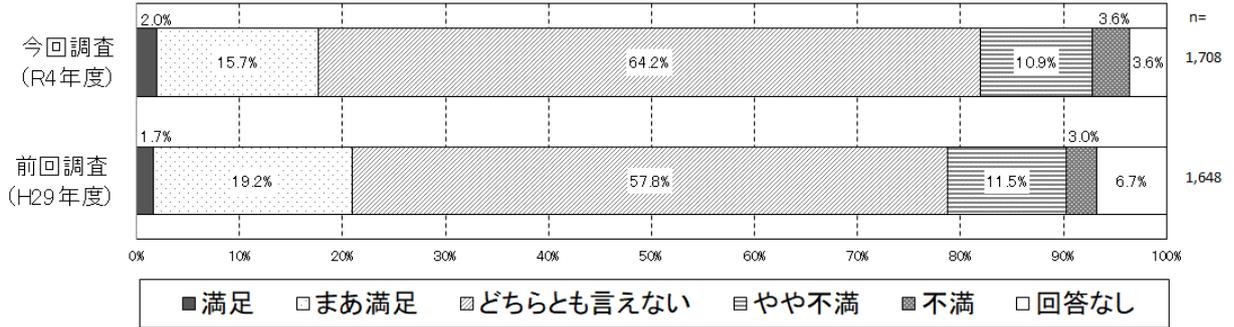
19 ごみ減量化、リサイクル活動



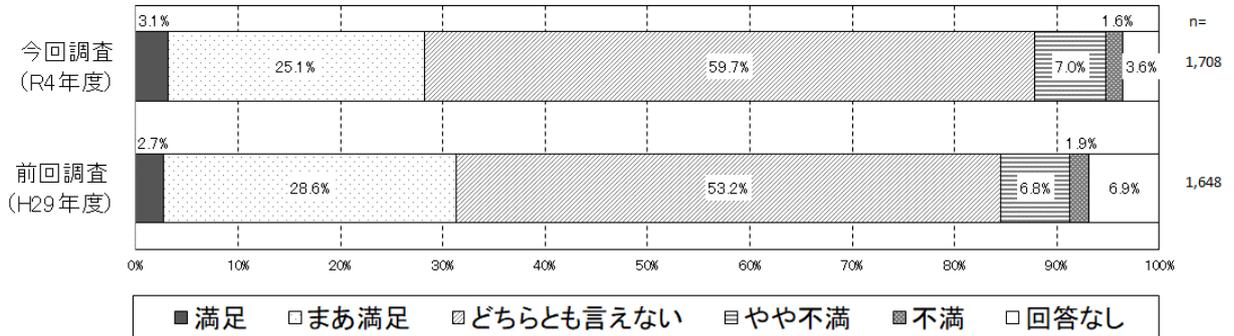
20 里山など自然環境保全



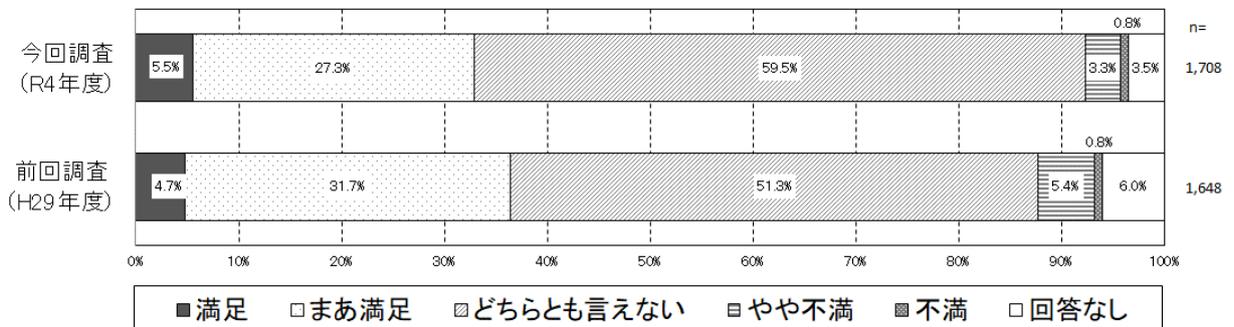
21 河川・ため池などの水辺環境



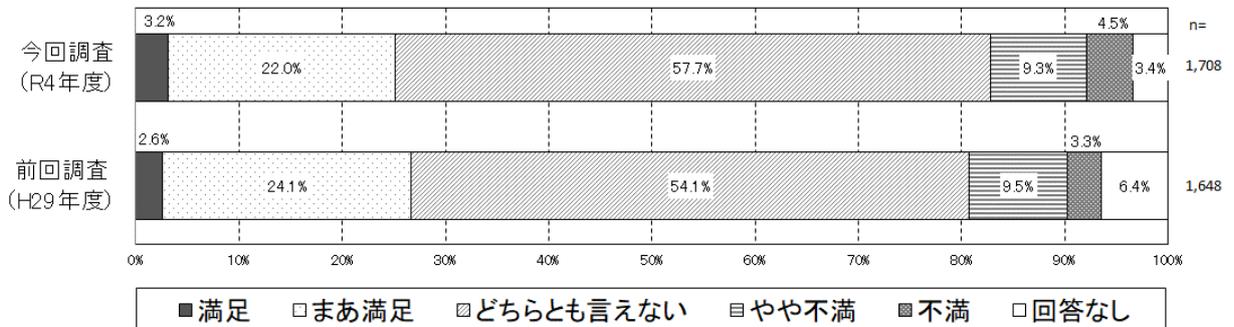
22 防災などの安全なまちづくり



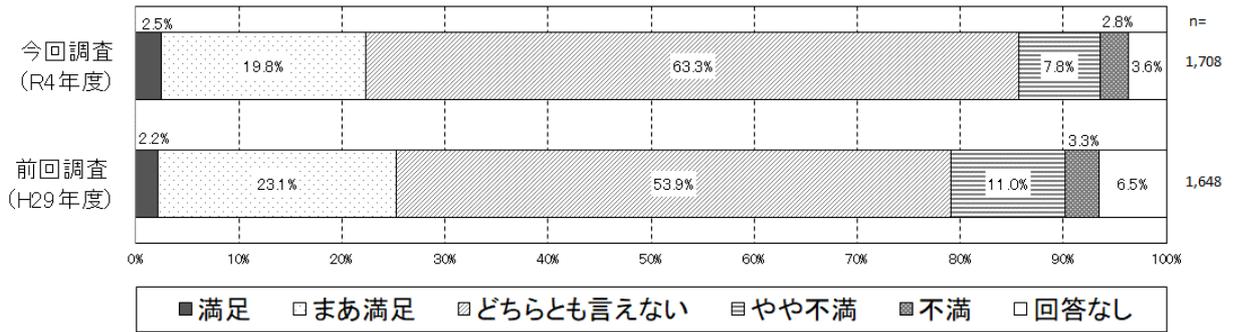
23 消防・救急対策



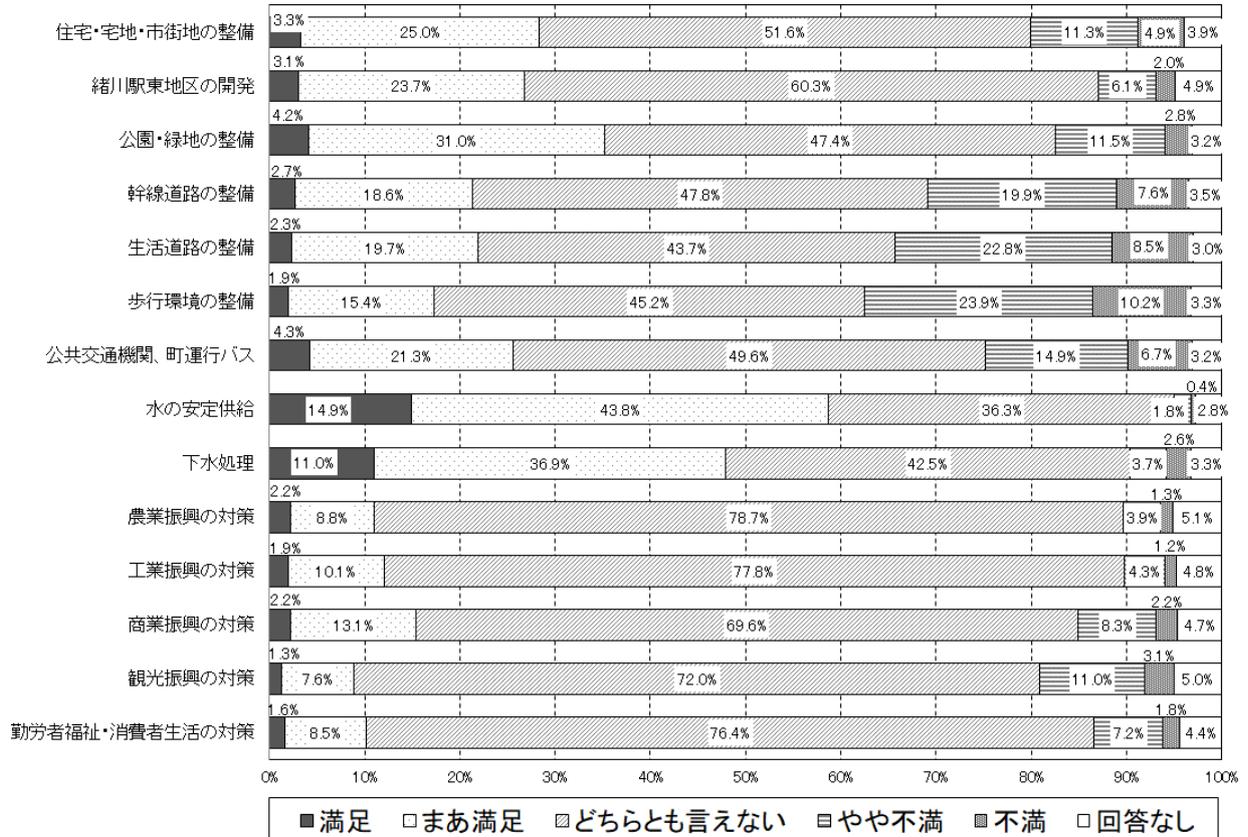
24 交通安全対策



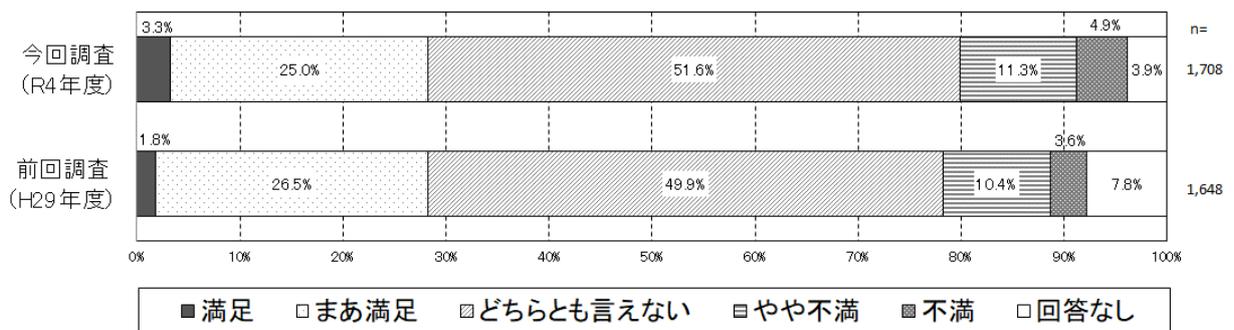
25 防犯対策



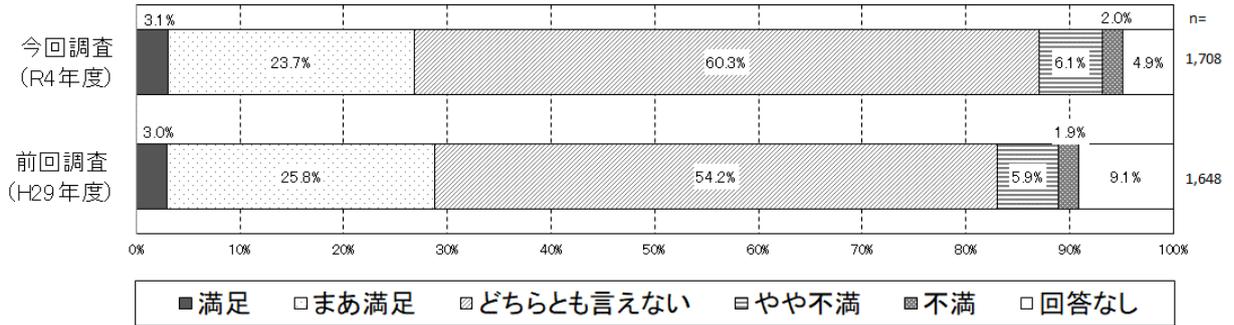
暮らしの満足度「都市基盤・産業振興」



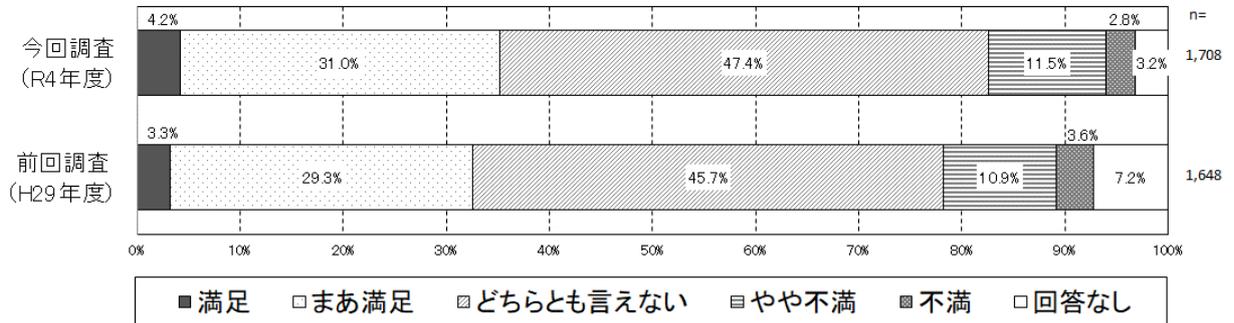
26 住宅・宅地・市街地の整備



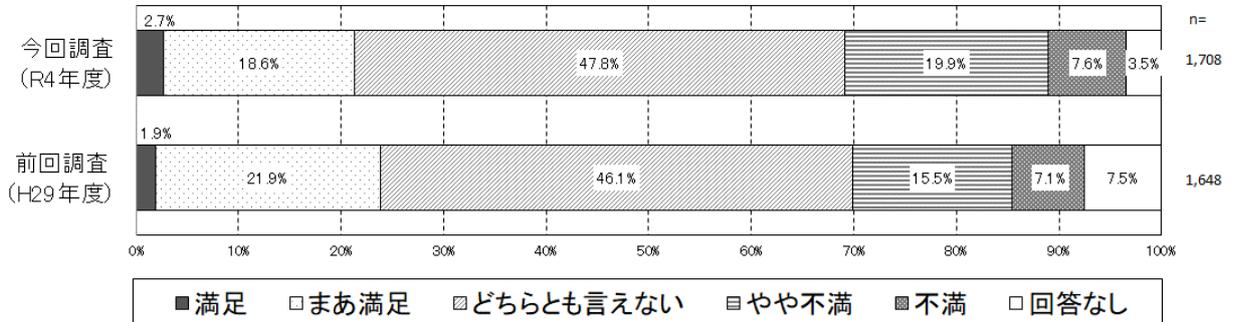
27 緒川駅東地区の開発



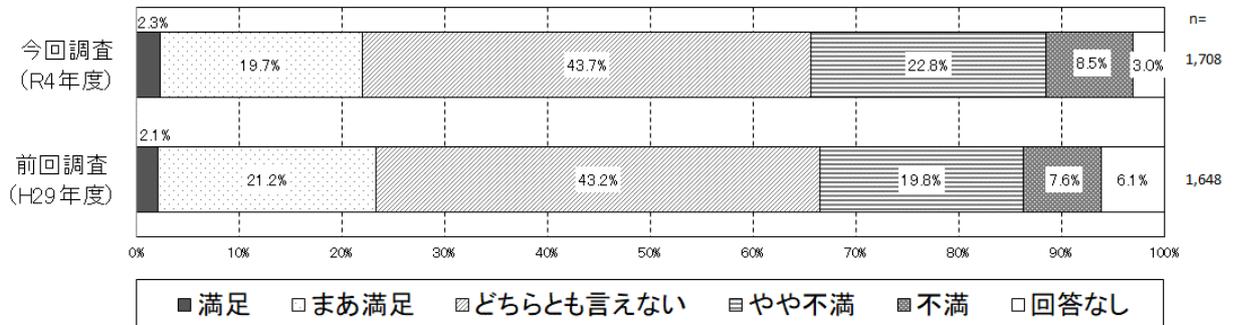
28 公園・緑地の整備



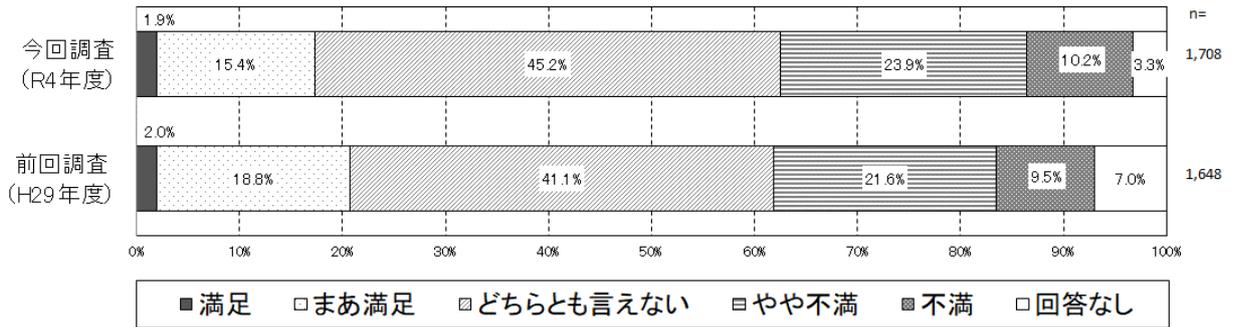
29 幹線道路の整備



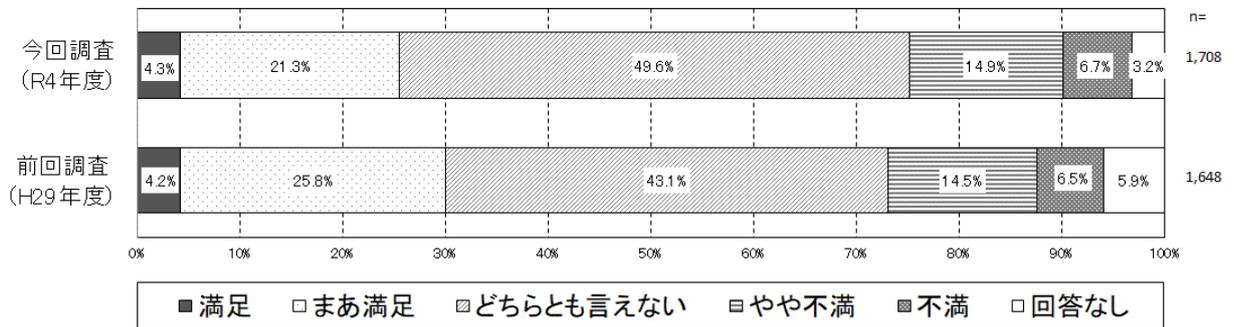
30 生活道路の整備



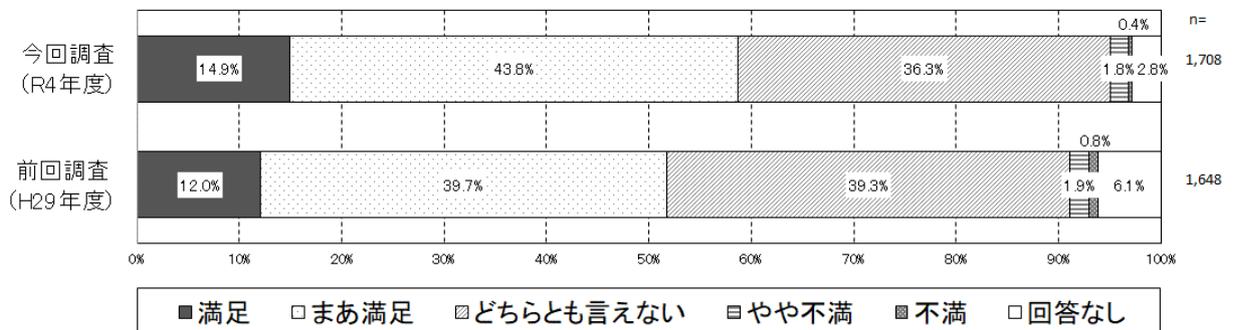
31 歩行環境の整備



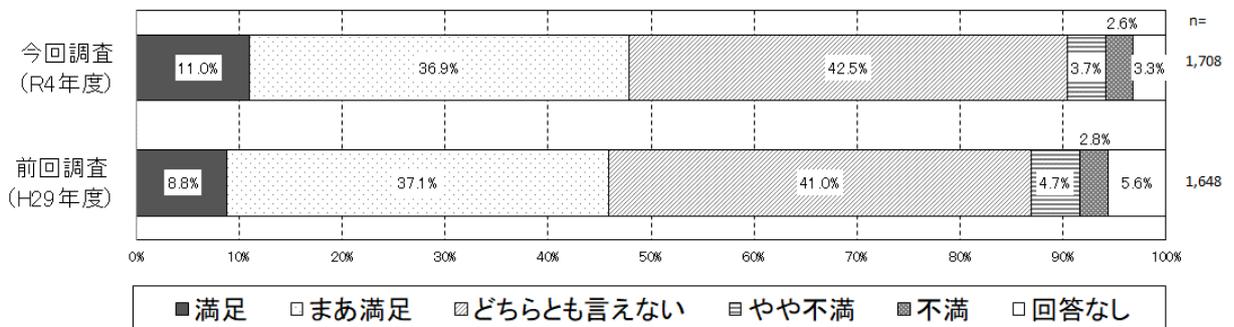
32 公共交通機関、町運行バス



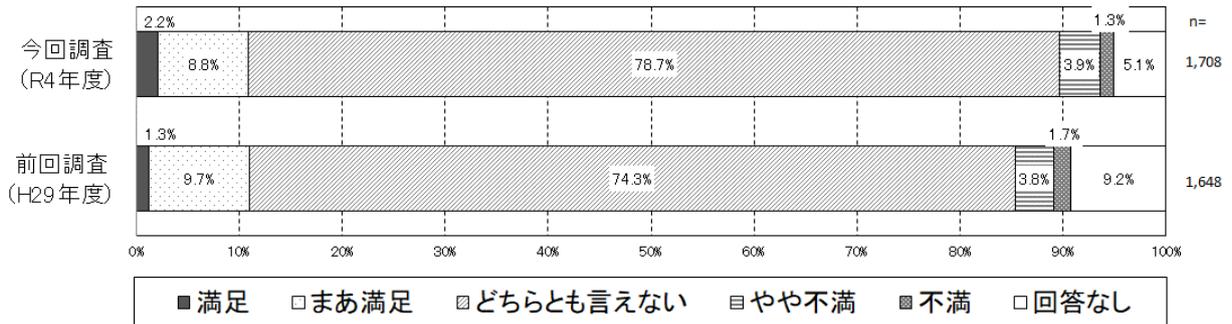
33 水の安定供給



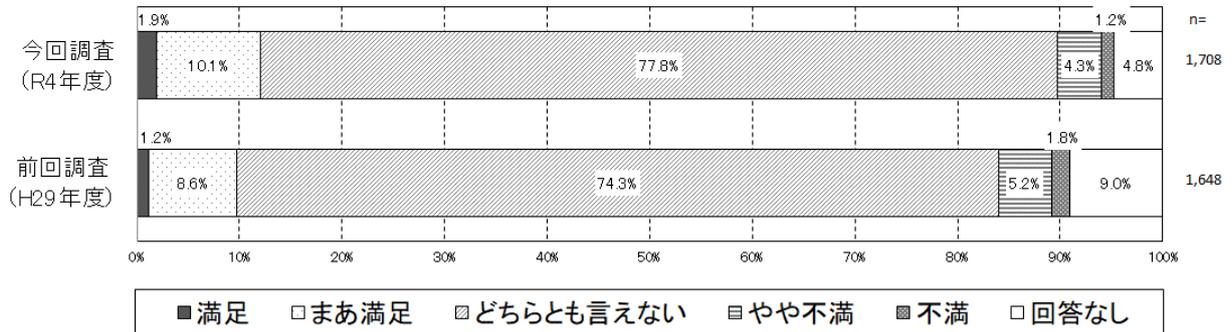
34 下水処理



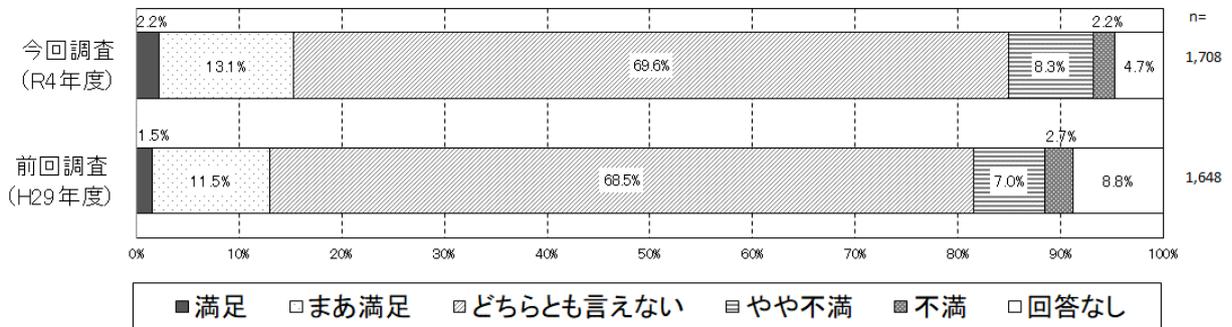
35 農業振興の対策



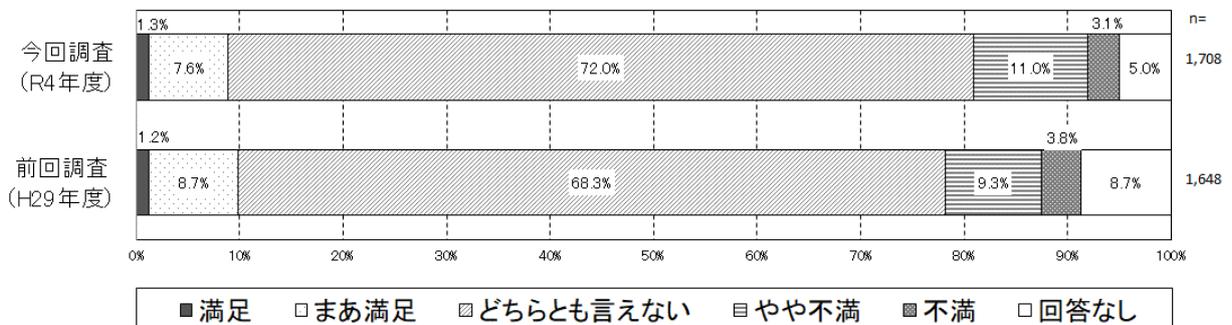
36 工業振興の対策



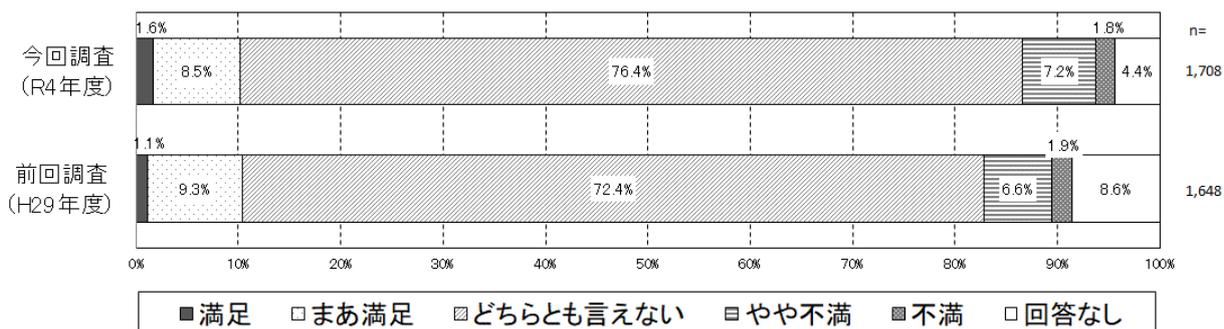
37 商業振興の対策



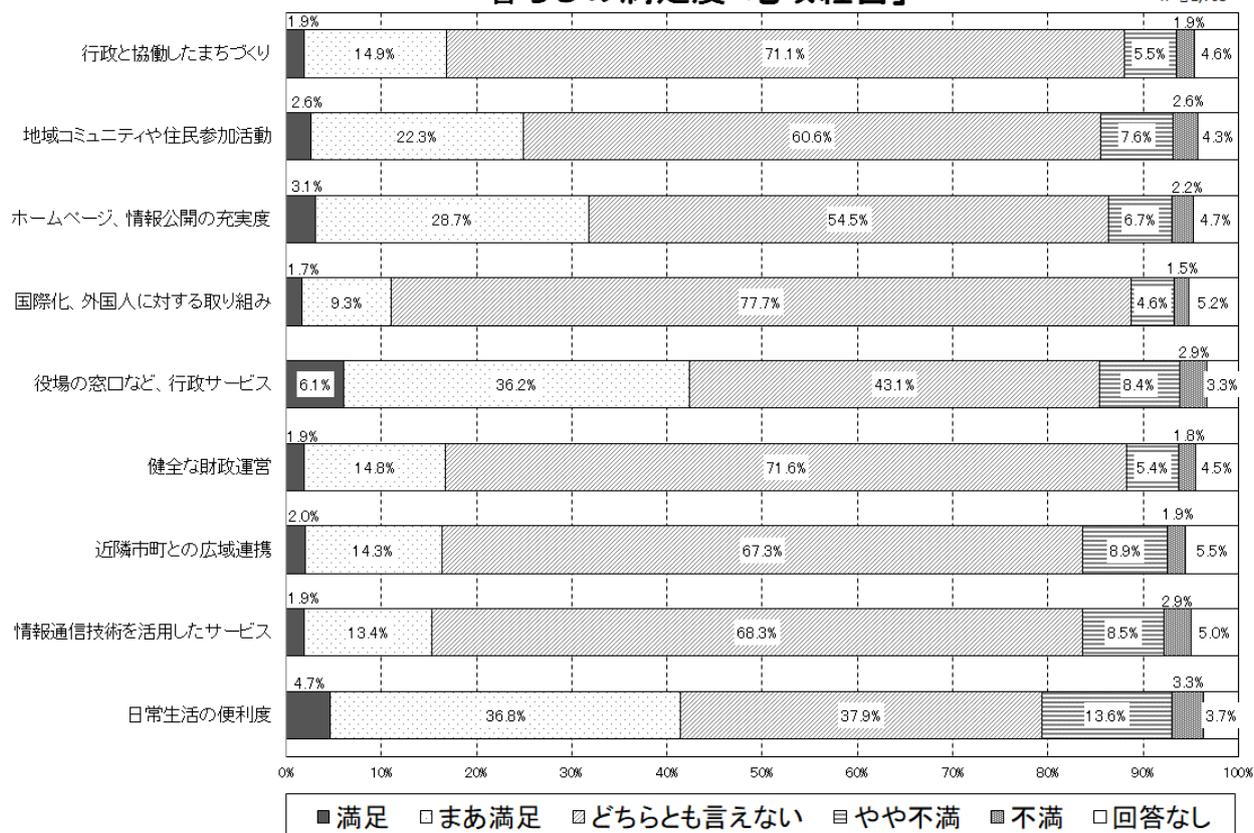
38 観光振興の対策



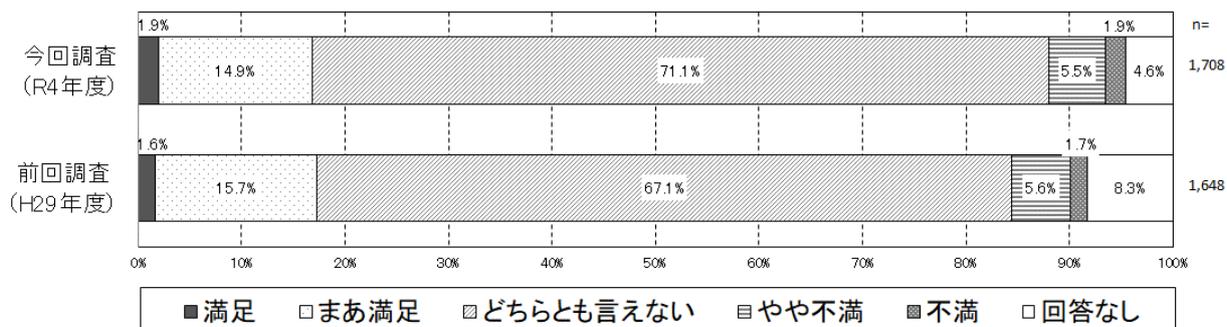
39 勤労者福祉・消費者生活の対策



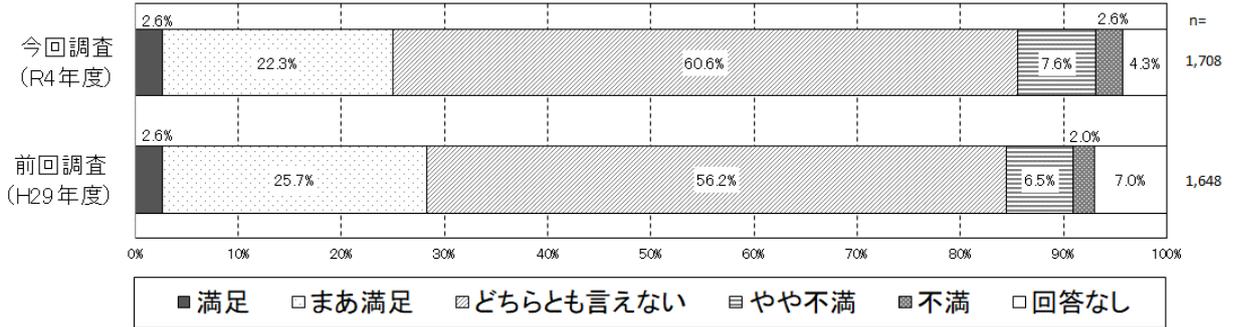
暮らしの満足度「地域経営」



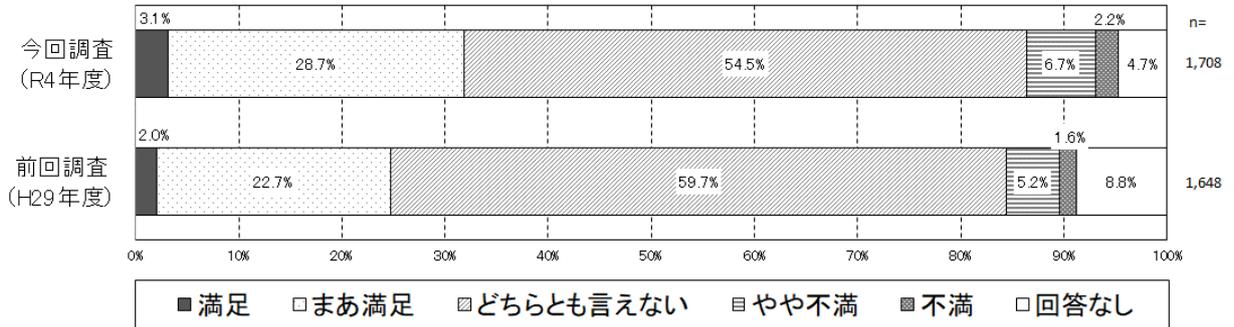
40 行政と協働したまちづくり



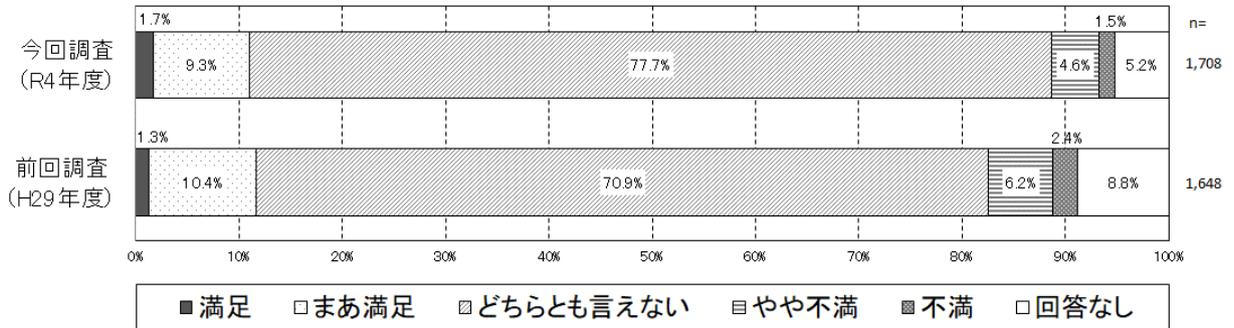
41 地域コミュニティや住民参加活動



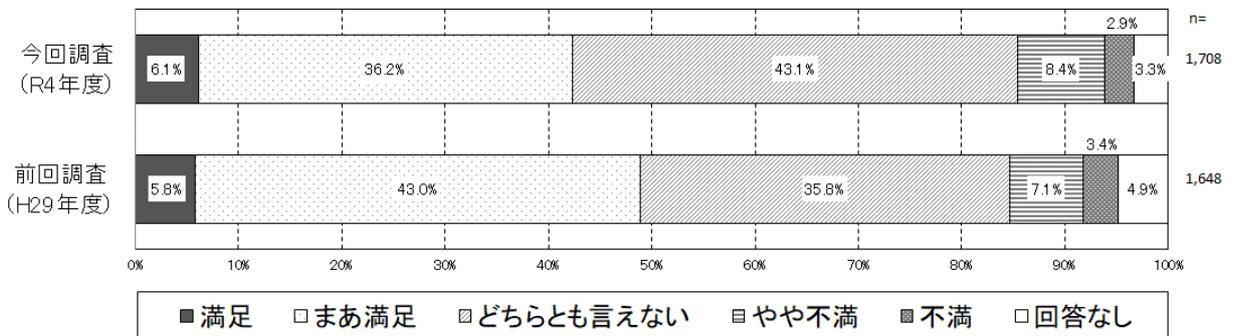
42 ホームページ、情報公開の充実度



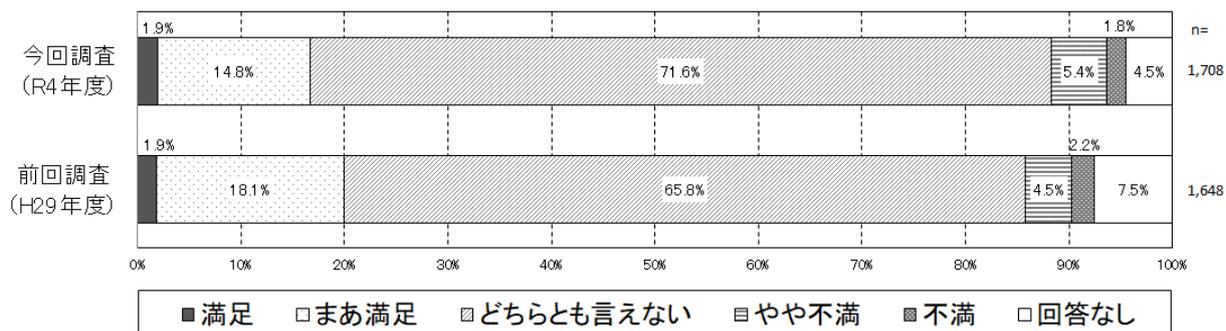
43 国際化、外国人に対する取り組み



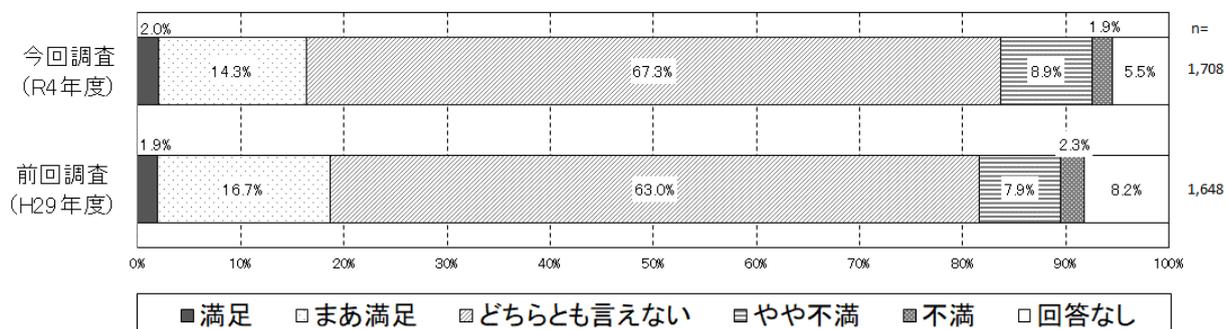
44 役場の窓口など、行政サービス



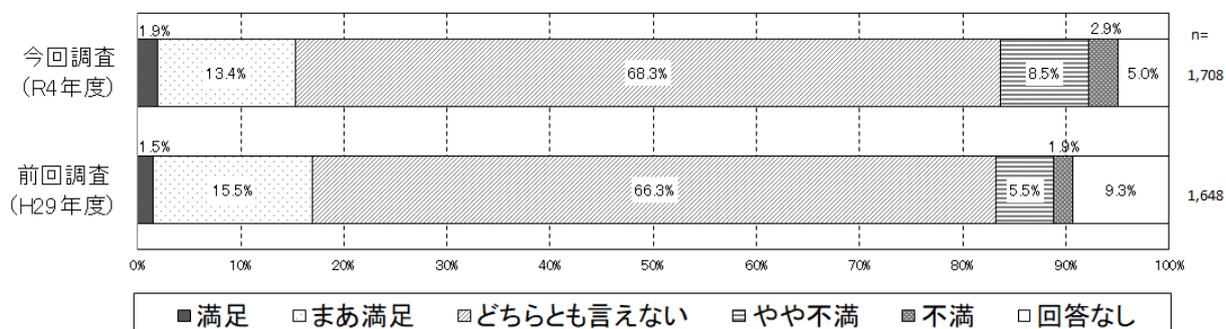
45 健全な財政運営



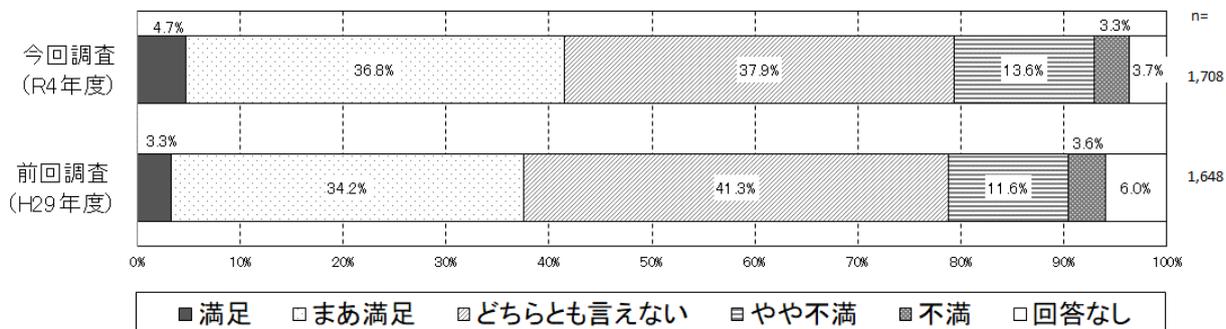
46 近隣市町との広域連携



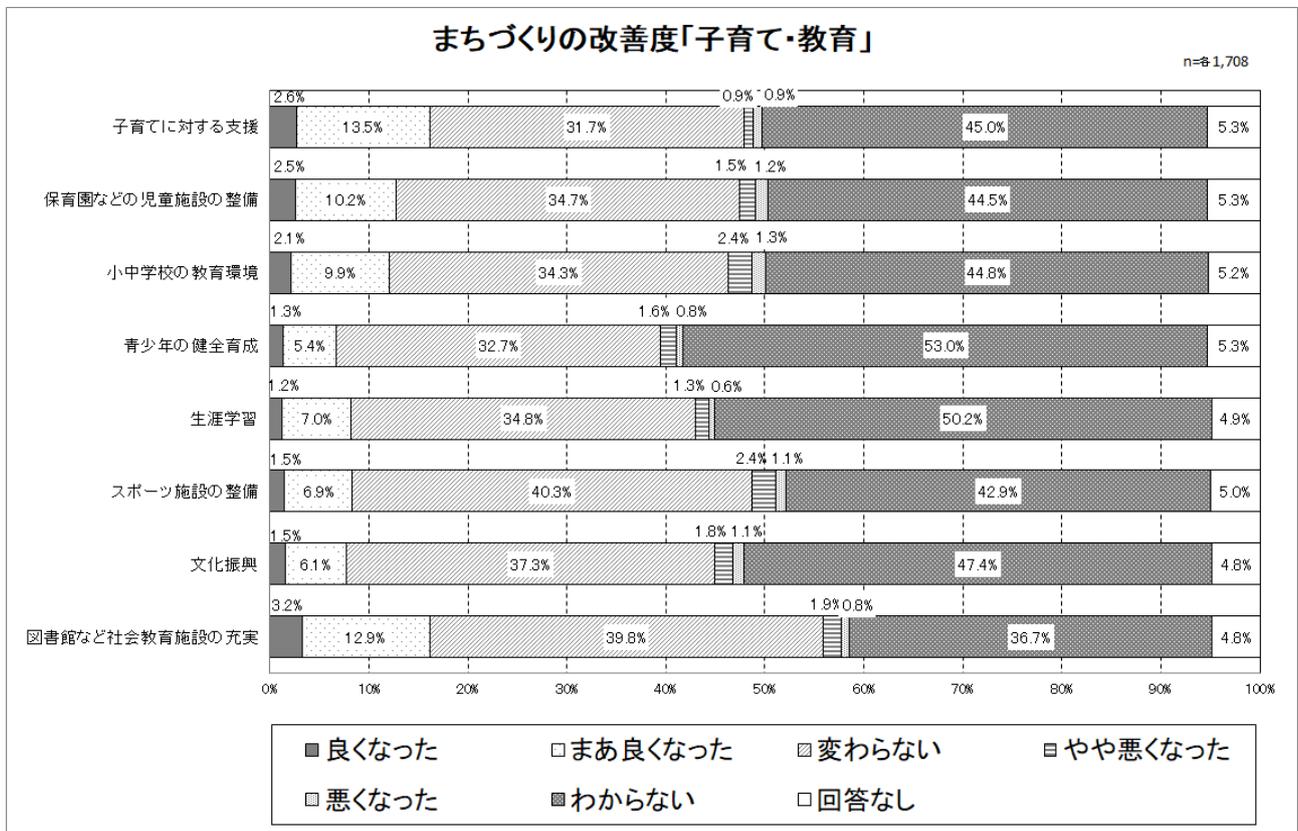
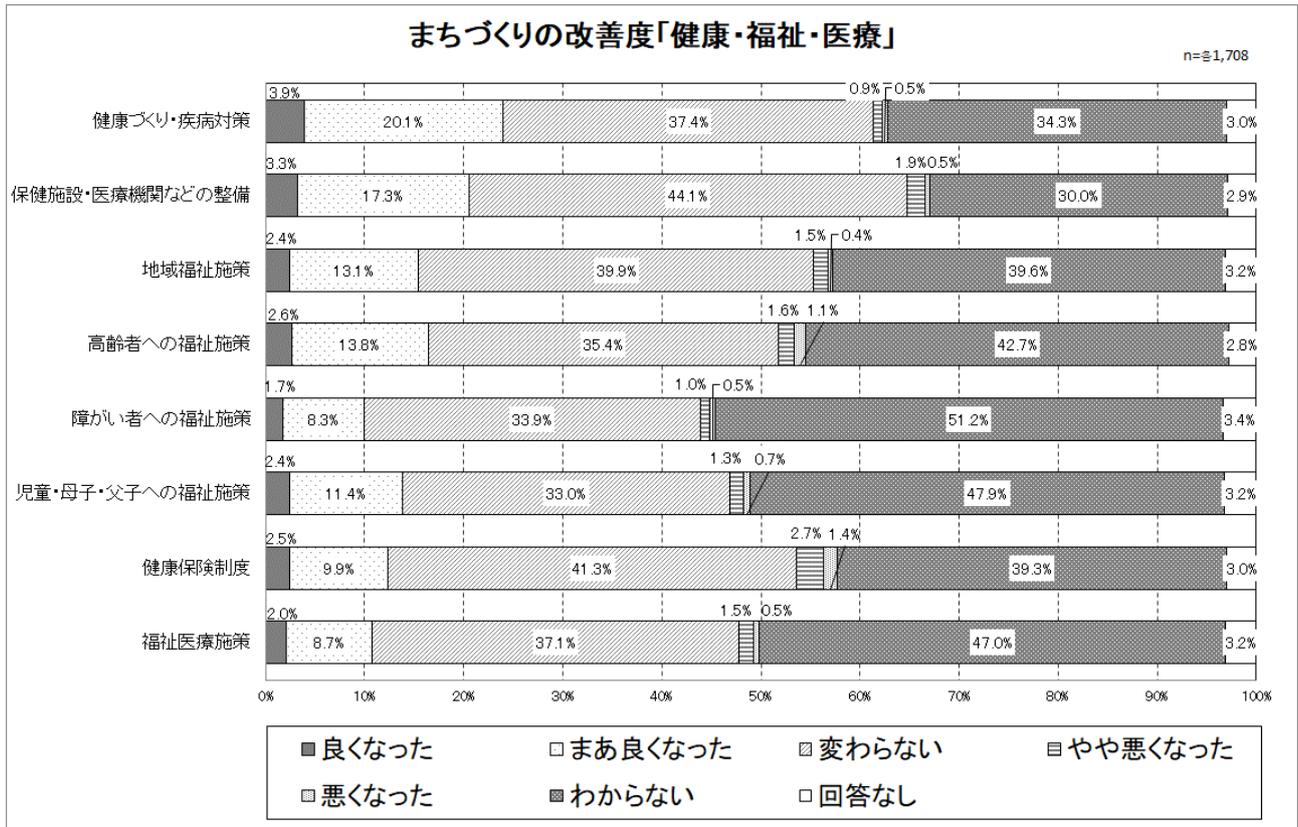
47 情報通信技術を活用したサービス



48 日常生活の便利度

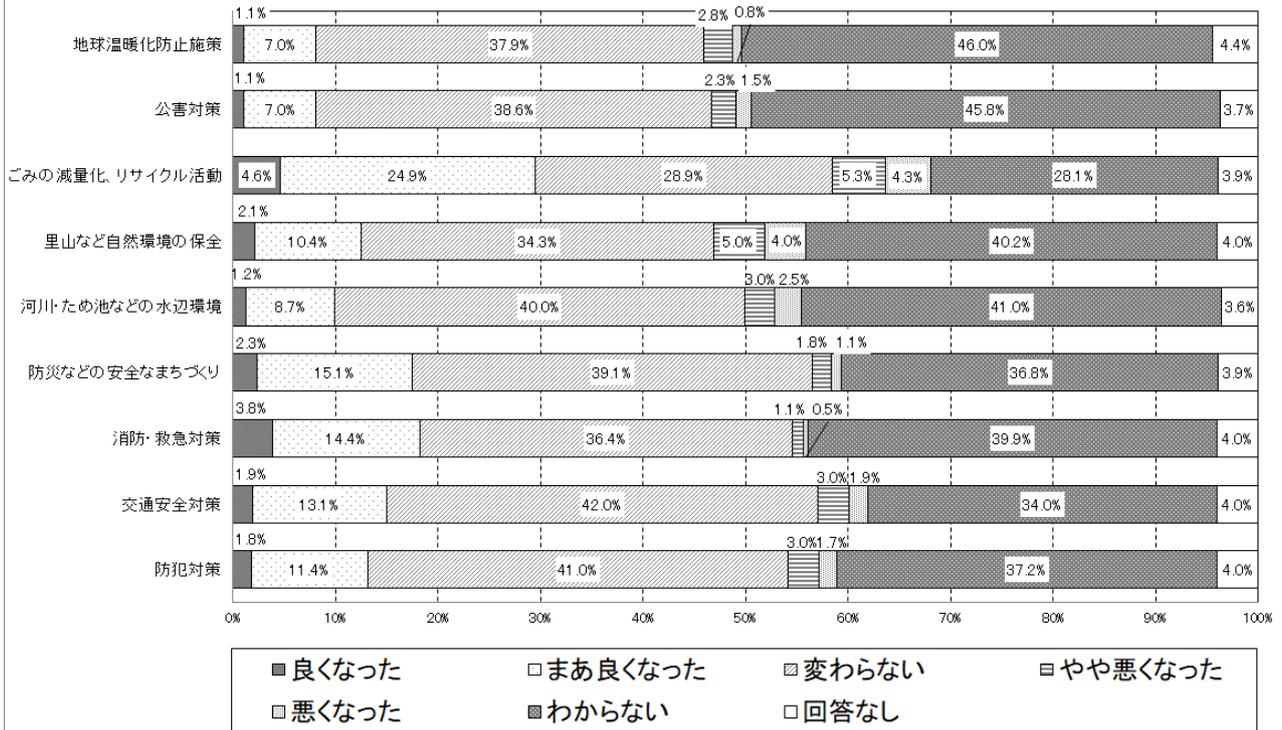


(2) まちづくりの改善度



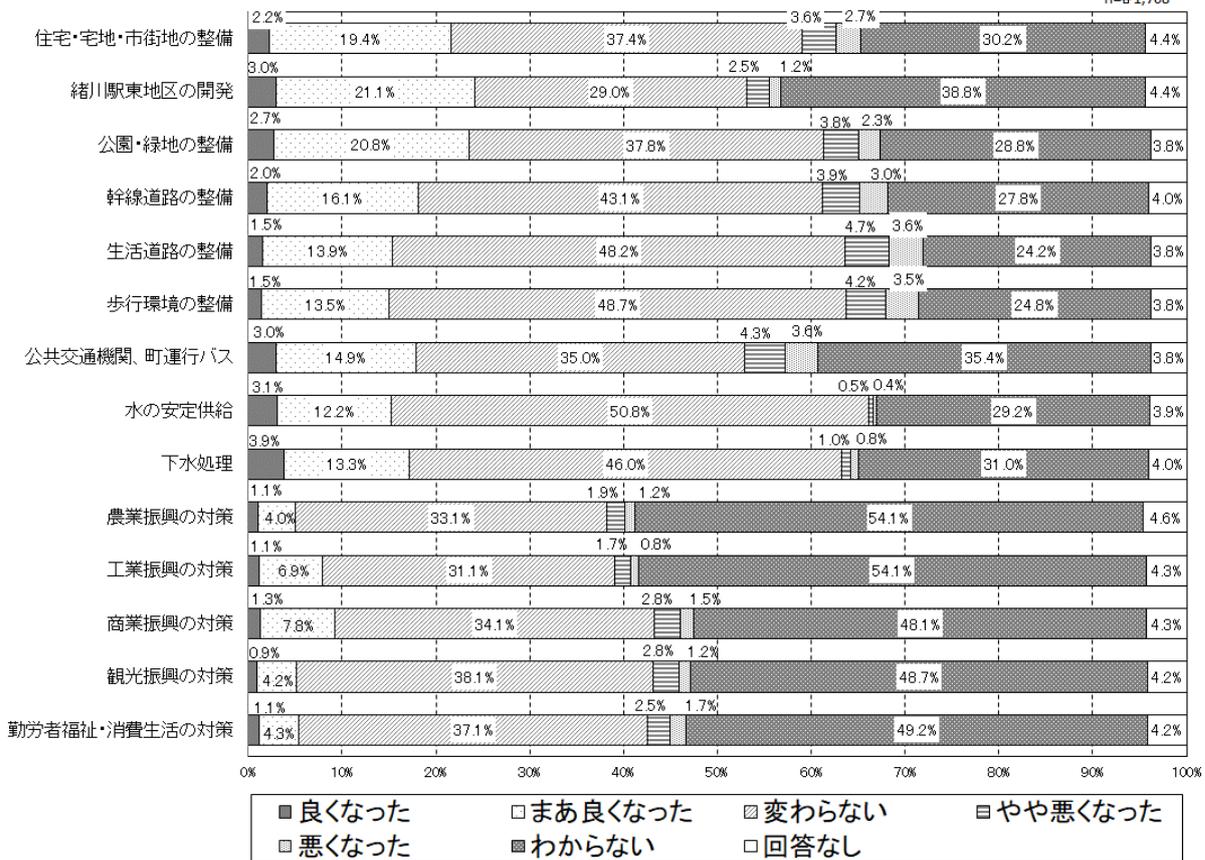
まちづくりの改善度「環境・防災・防犯」

n=8,170



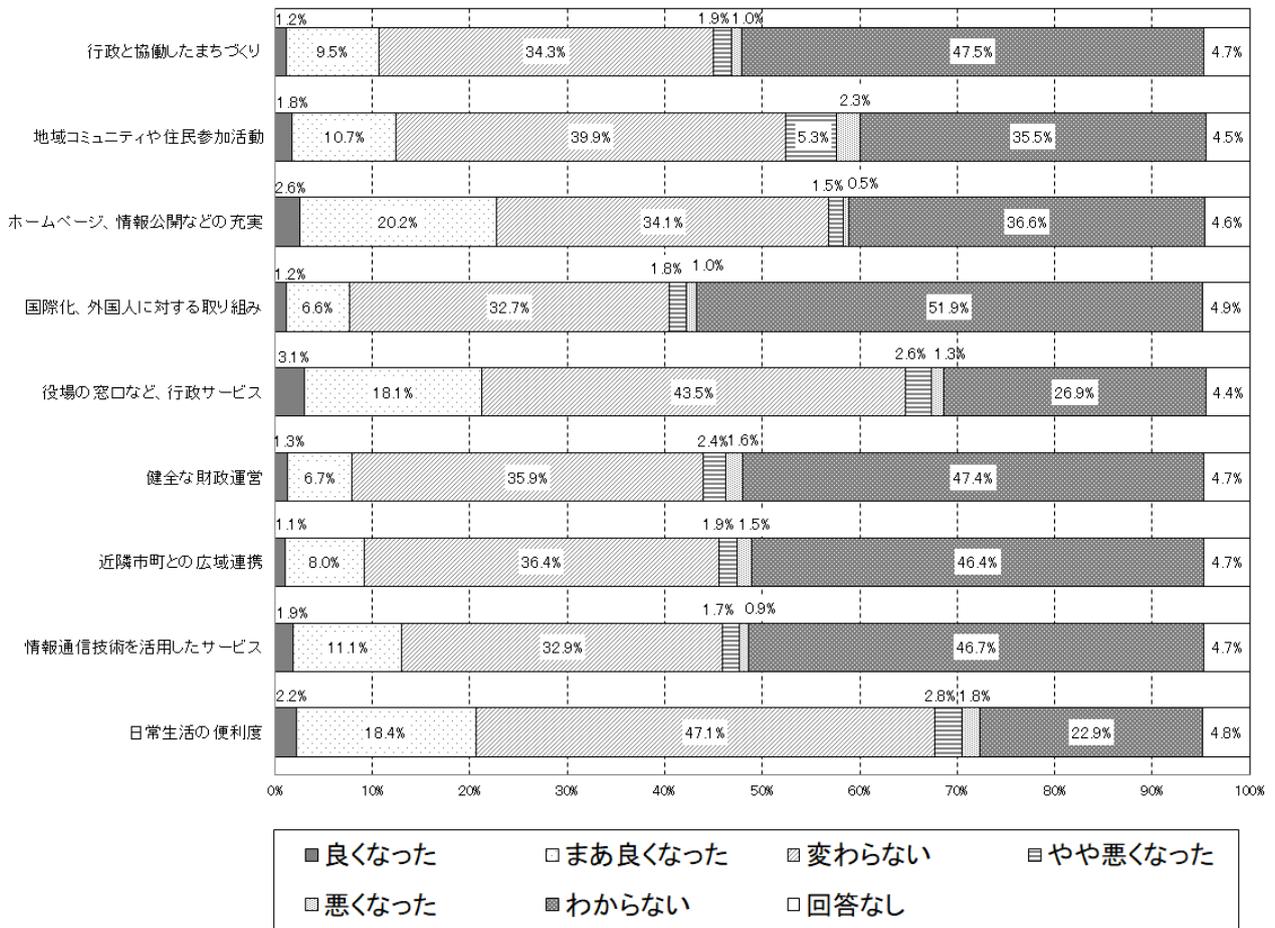
まちづくりの改善度「都市整備・産業振興」

n=8,170



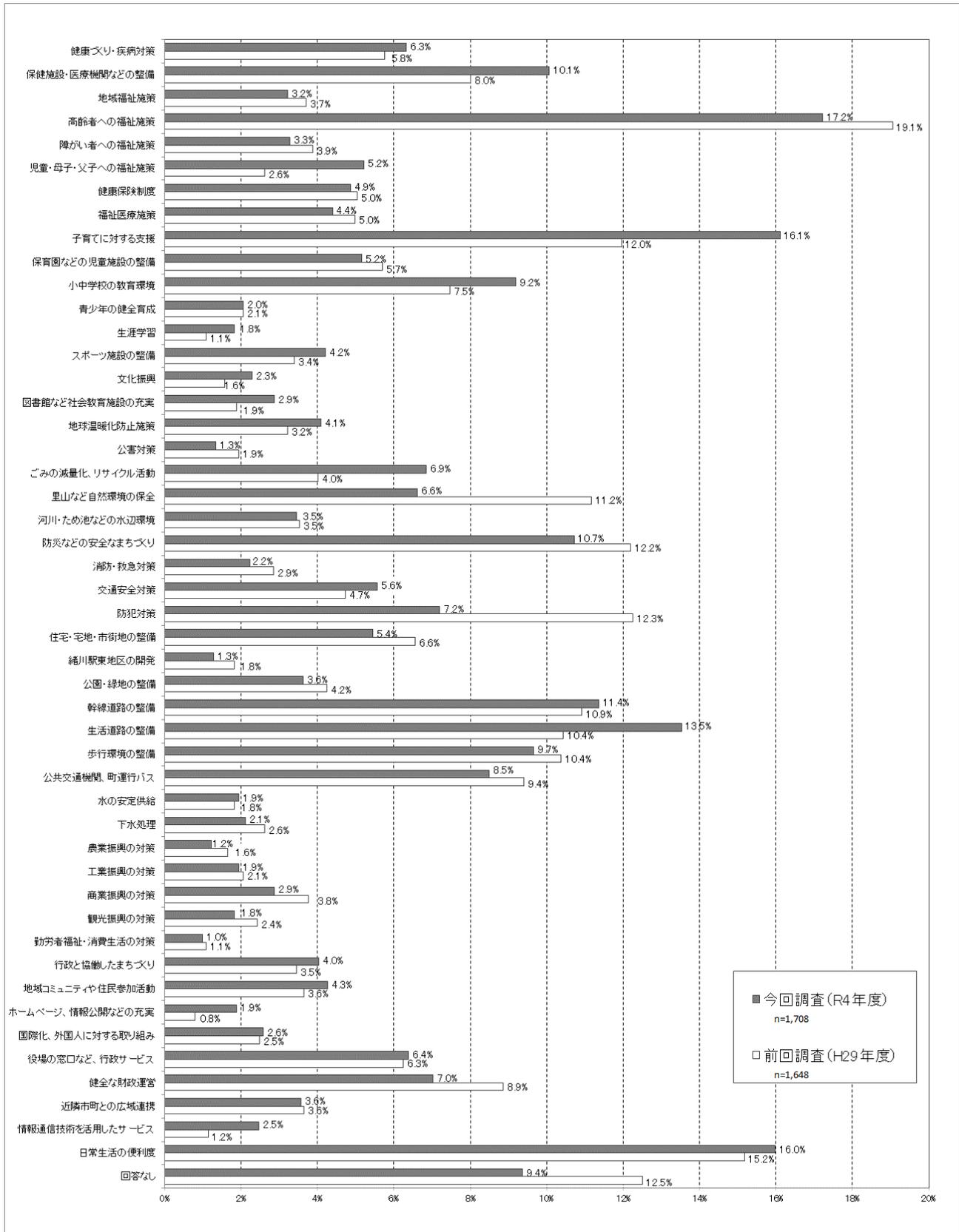
まちづくりの改善度「地域経営」

n=1,708



(3) 特に重要と思う施策

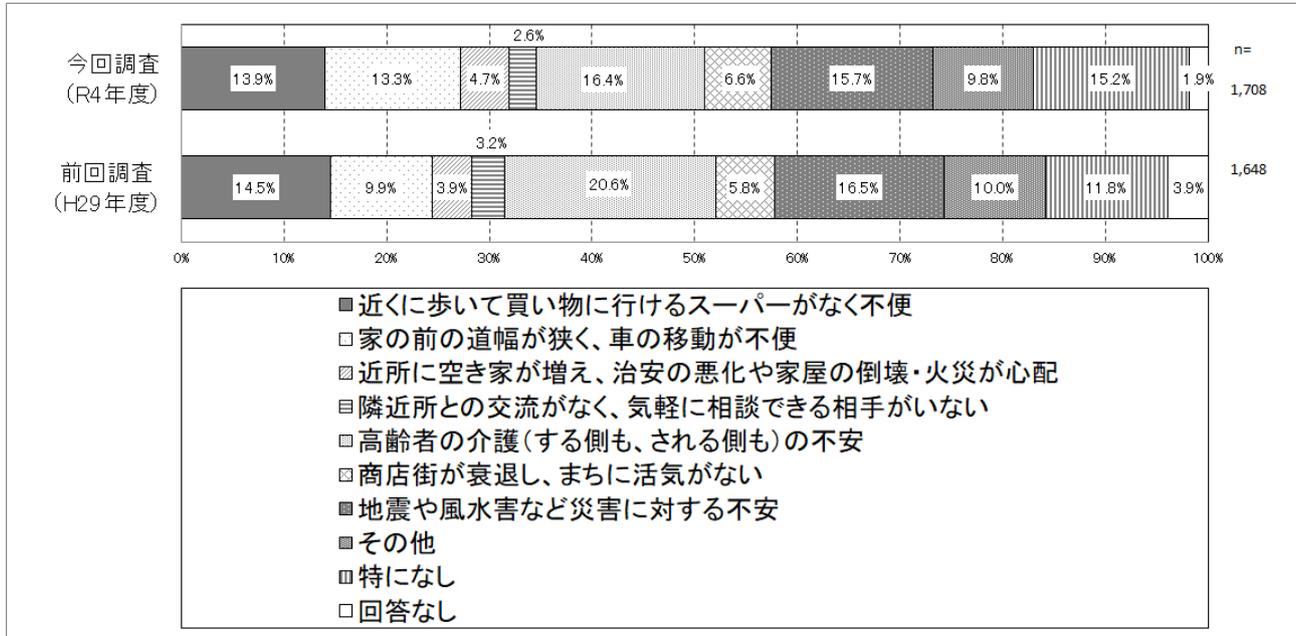
○「高齢者への福祉施策」、「子育てに対する支援」、「日常生活の便利度」、「生活道路の整備」、「幹線道路の整備」の施策の重要度が高くなっています。



東浦町の将来のまちづくり

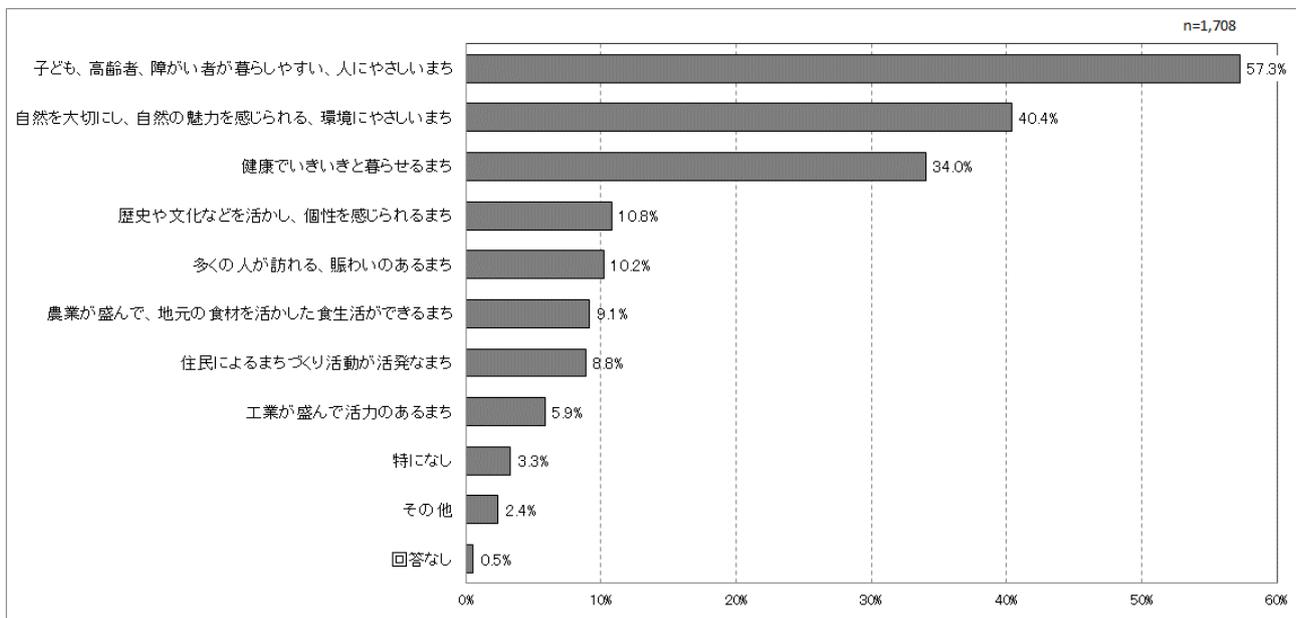
(1) 身近な不便や不安

○「高齢者の介護（する側も、される側も）の不安」が最も多く、次いで、「地震や風水害など災害に対する不安」、「特になし」の順になっています。



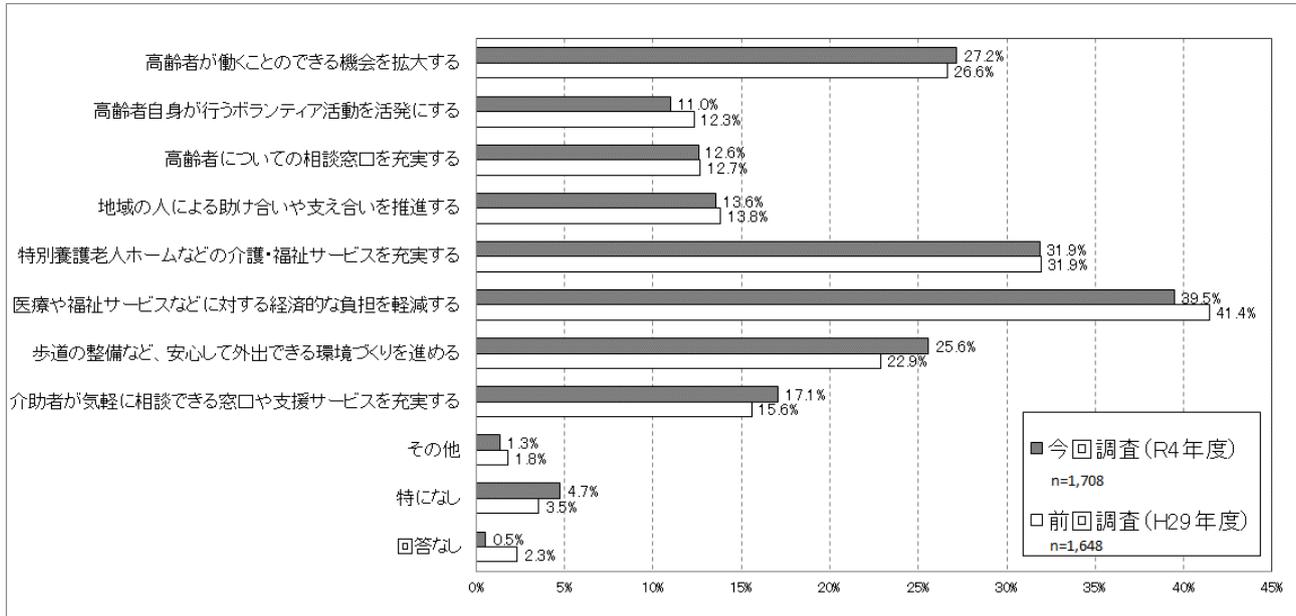
(2) 今後のめざすべきまちのイメージ

○「子ども、高齢者、障がい者が暮らしやすい、人にやさしいまち」、「自然を大切にし、自然の魅力を感じられる、環境にやさしいまち」、「健康でいきいきと暮らせるまち」を、将来のめざすべきまちの姿として望んでいます。



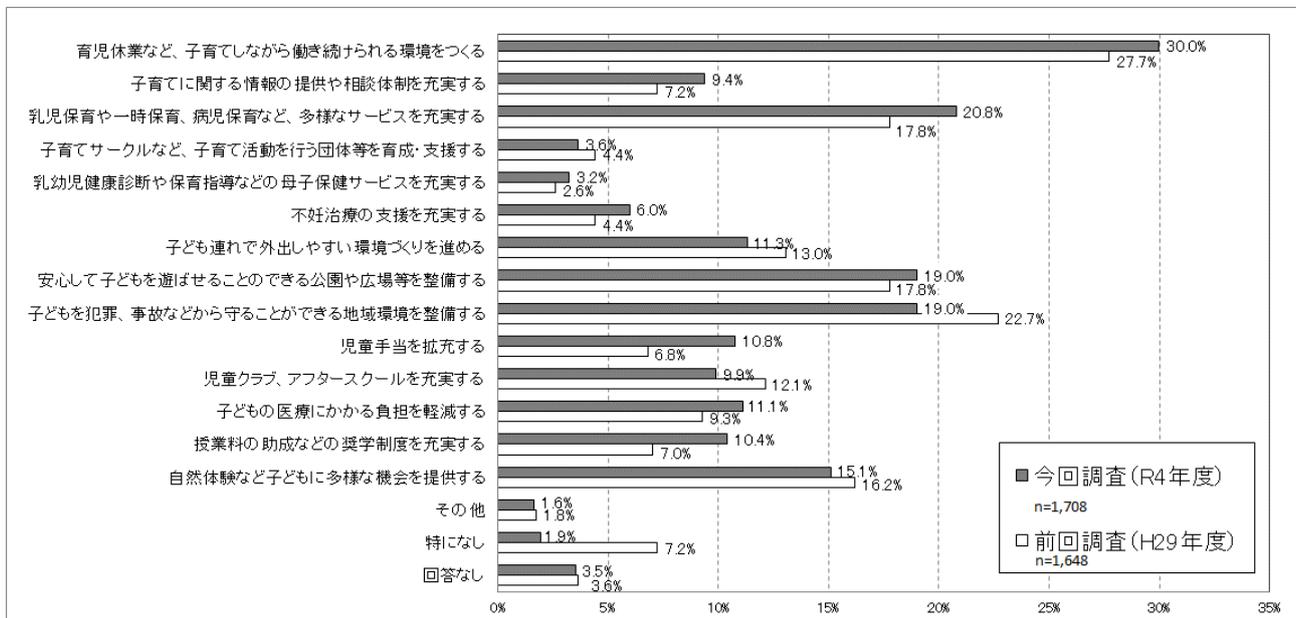
(3) 高齢者に対する施策

○「医療・福祉サービスなどに対する経済的な負担を軽減する」や「特別養護老人ホームなどの介護・福祉サービスを充実する」、「高齢者が働くことのできる機会を拡大する」が望まれています。



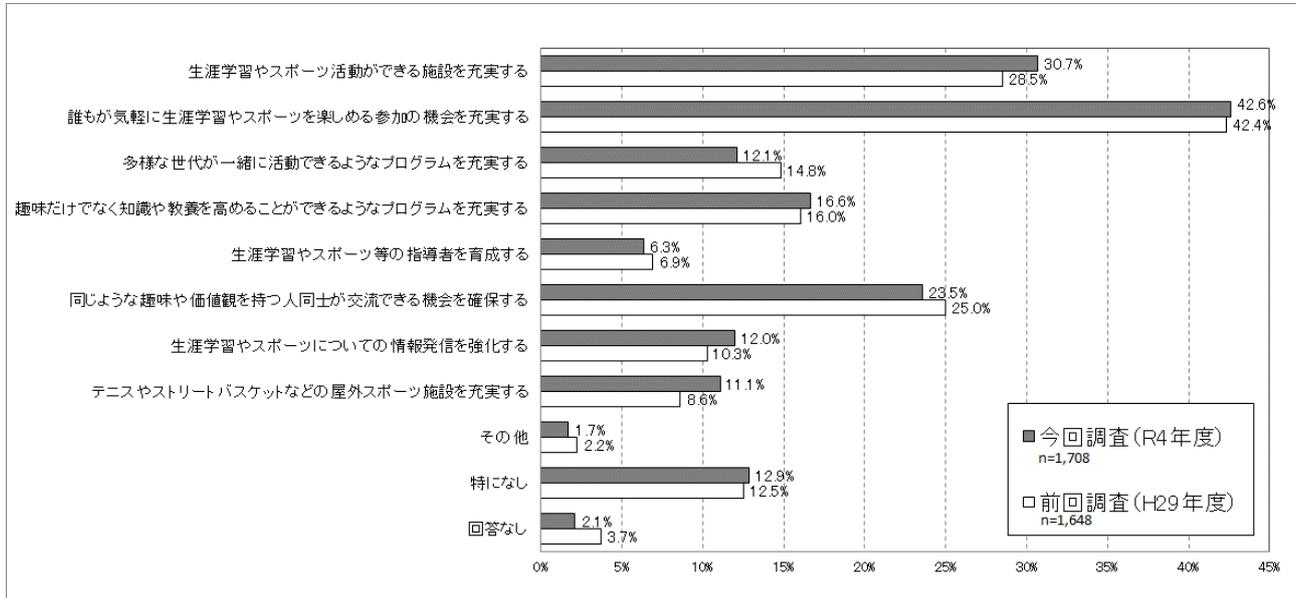
(4) 子育て支援

○子育てしやすい環境を整えるために、「育児休業など、子育てしながら働き続けられる環境をつくる」や、「乳児保育や一時保育、病児保育など、多様なサービスの充実する」が望まれています。



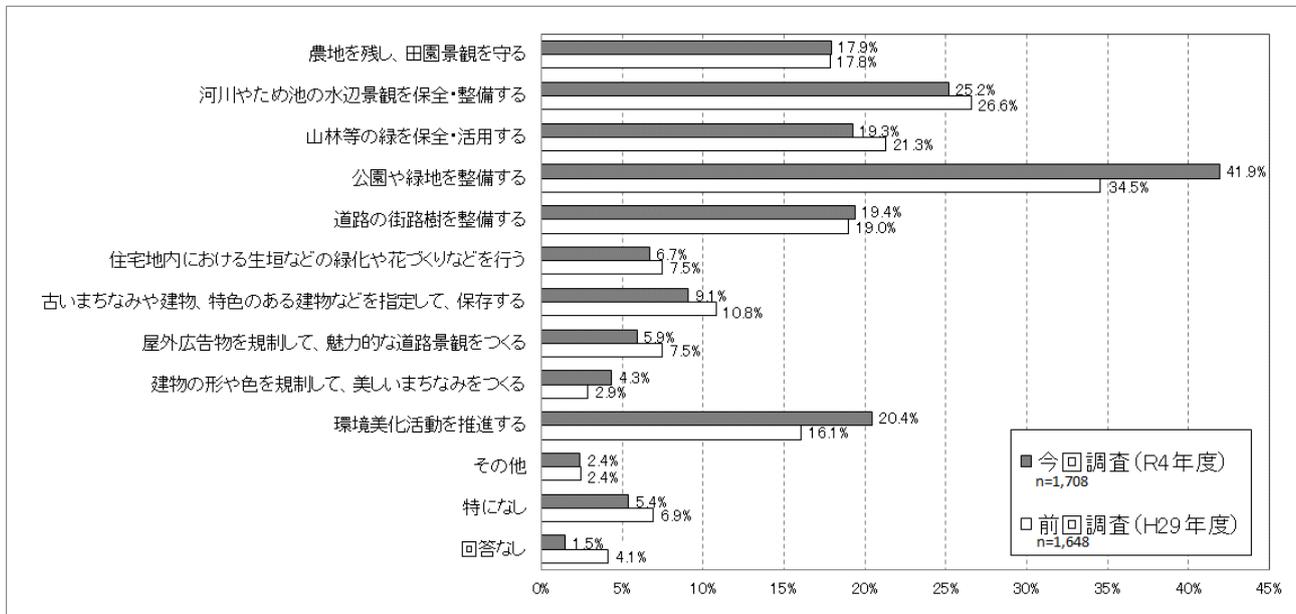
(5) 生涯学習・スポーツ振興

○生涯学習やスポーツ振興に必要なこととしては、「誰もが気軽に楽しめる参加の機会を充実する」や、「生涯学習やスポーツ活動ができる施設を充実する」、「同じような趣味や価値観を持つ人同士が交流できる機会を確保する」が望まれています。



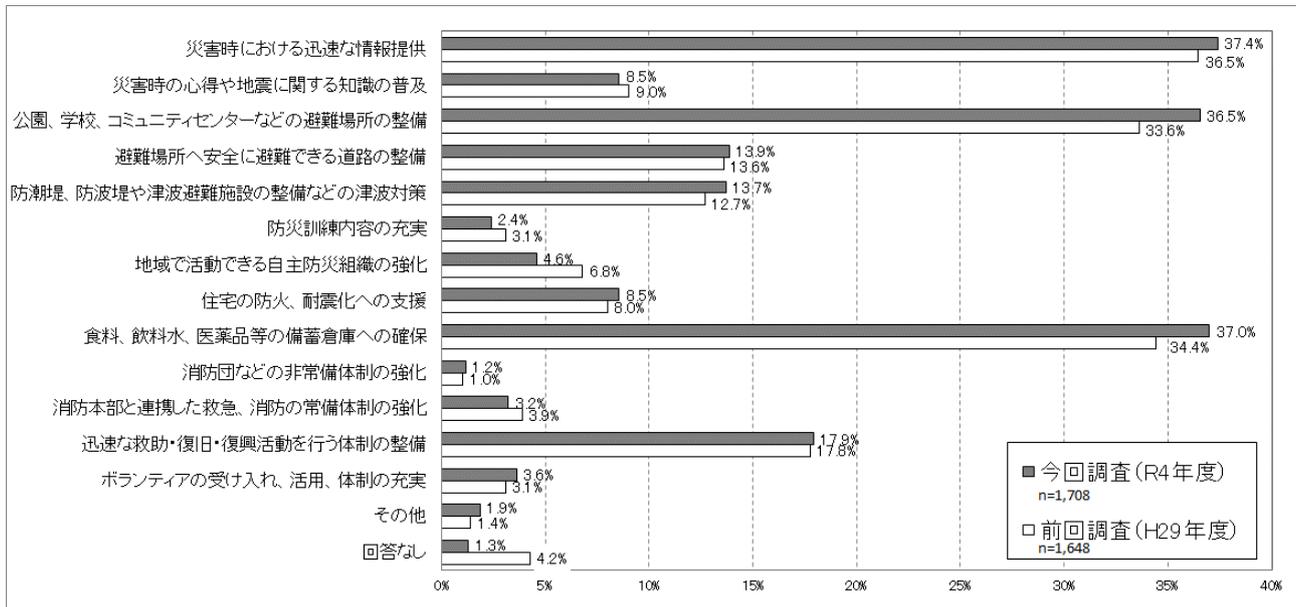
(6) 環境・景観づくり

○東浦町の環境・景観づくりに向けて、「公園や緑地を整備する」や「河川やため池の水辺景観を保全・整備する」、「環境美化活動を推進する」が望まれています。



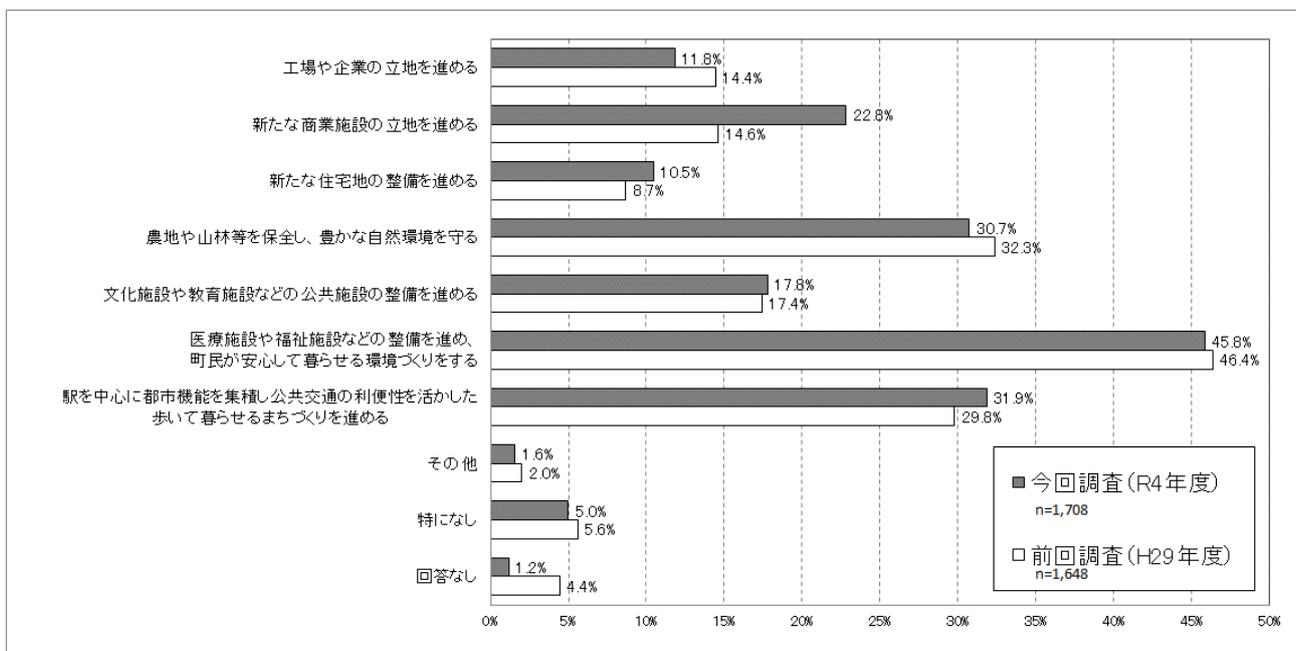
(7) 防災対策

○大地震や水害に備えて、「災害時における迅速な情報提供」や「食料、飲料水、医薬品等の備蓄倉庫への確保」、「公園、学校、コミュニティセンターなどの避難場所の整備」に力をいれることが望まれています。



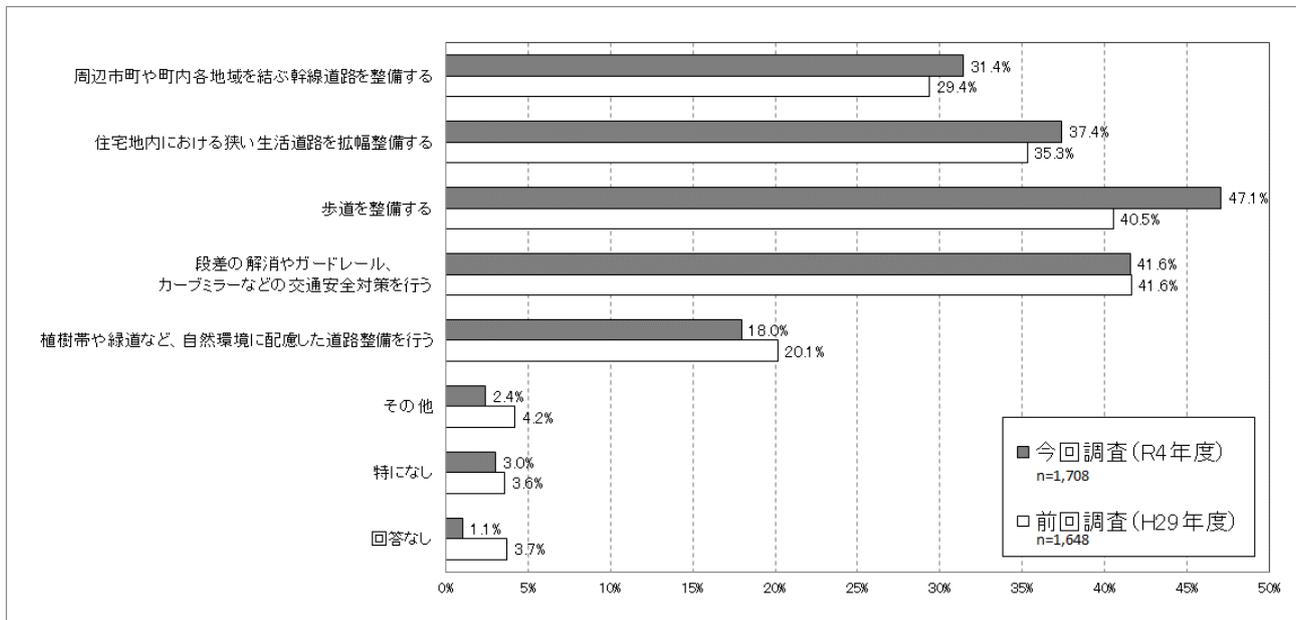
(8) 土地利用

○「医療施設や福祉施設などの整備を進め、町民が安心して暮らせる環境づくりをする」や、「駅を中心に都市機能を集積し公共交通の利便性を活かした歩いて暮らせるまちづくりを進める」、「農地や山林等を保全し、豊かな自然環境を守る」に向けた土地利用が望まれています。



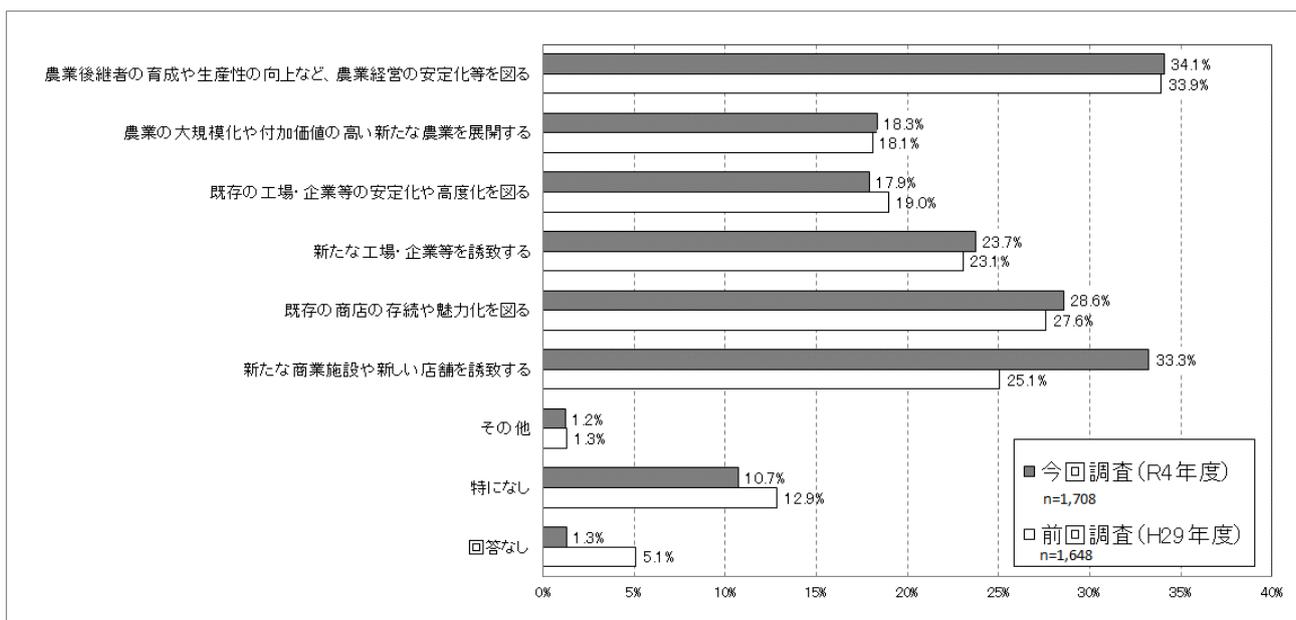
(9) 道路整備

○「歩道を整備する」、「段差の解消やガードレール、カーブミラーなどの交通安全対策を行う」など、安全・安心な歩行環境の整備が望まれています。



(10) 活力あるまちにするための方策

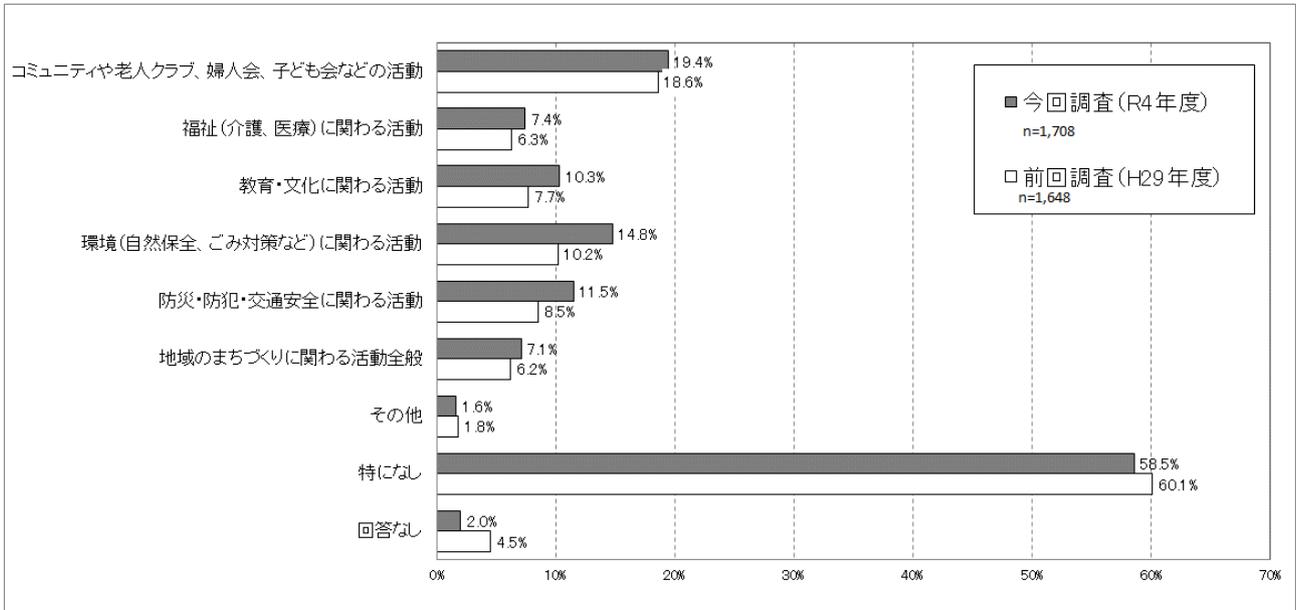
○東浦町の産業振興に向けては、「農業後継者の育成や生産性の向上など、農業経営の安定化等を図る」、「新たな商業施設や新しい店舗を誘致する」、「既存の商店の存続や魅力化を図る」など、既存産業の振興を進めるのと併せて新たな企業誘致が望まれています。



協働のまちづくりについて

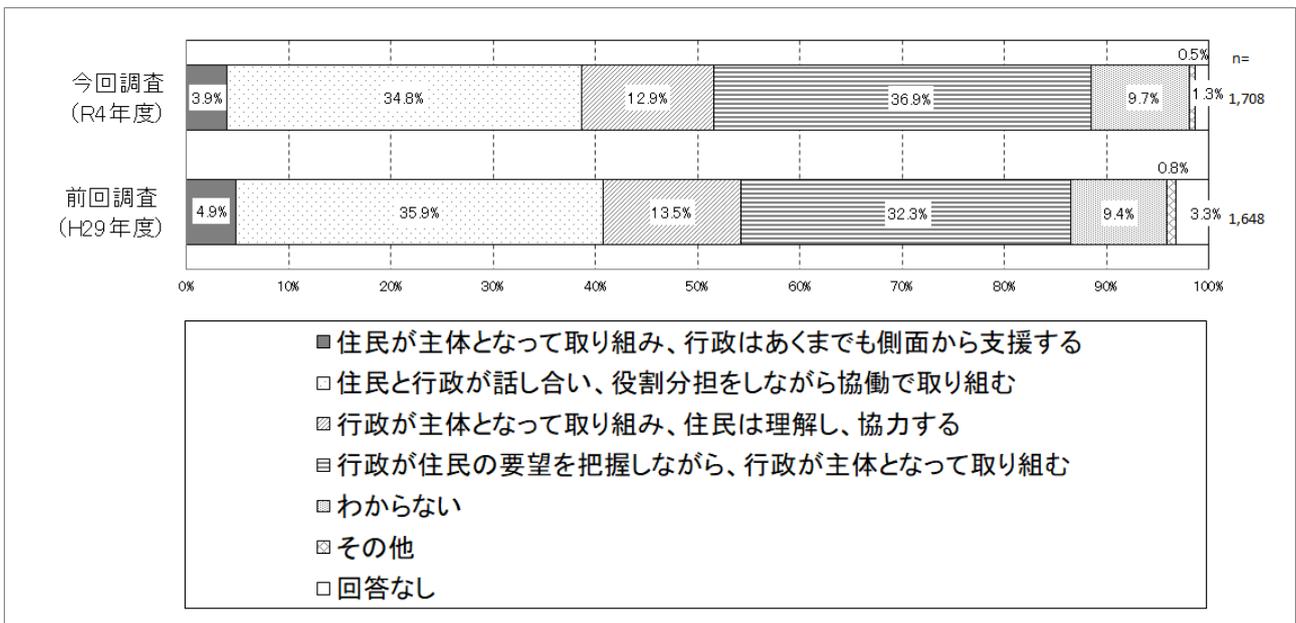
(1) 地区を良くしていくための活動への参加状況

○現在行っている地区を良くするための活動としては、「特になし」が約6割を占めています。次いで、「コミュニティや老人クラブ、婦人会、子ども会などの活動」、「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」、「教育・文化に関わる活動」の順になっています。



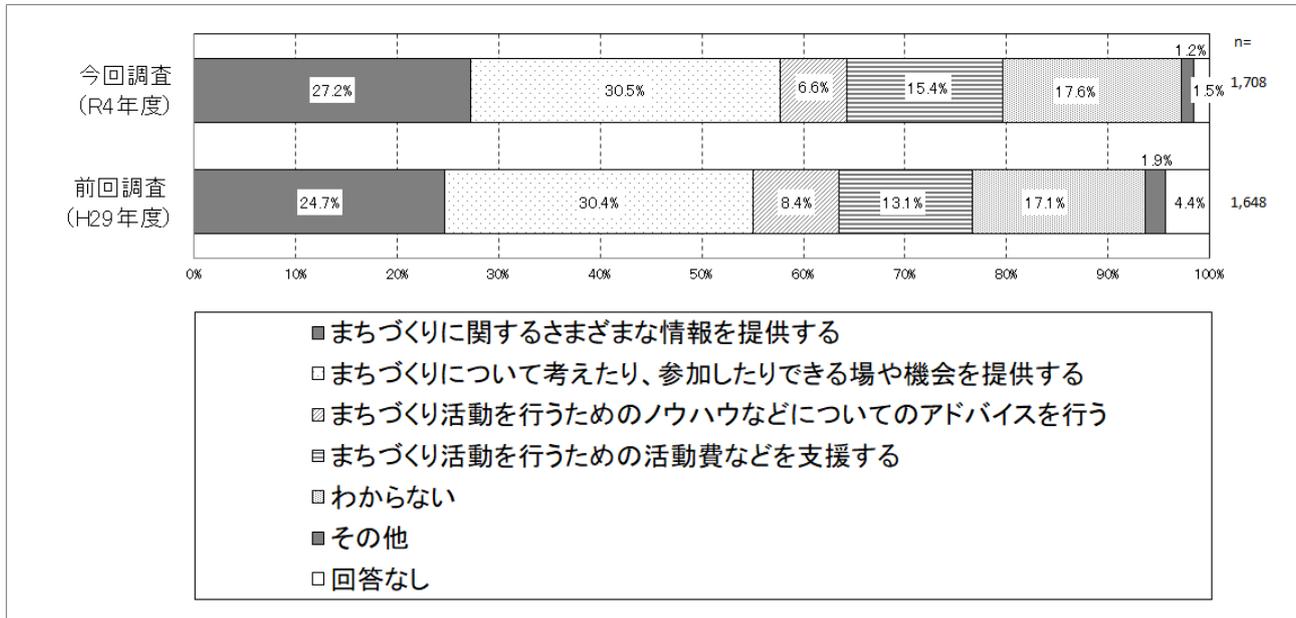
(2) 地区を良くしていくための活動を進める方法

○地区を良くするためのまちづくりを進める方法としては、「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」方法と、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」方法が望まれています。



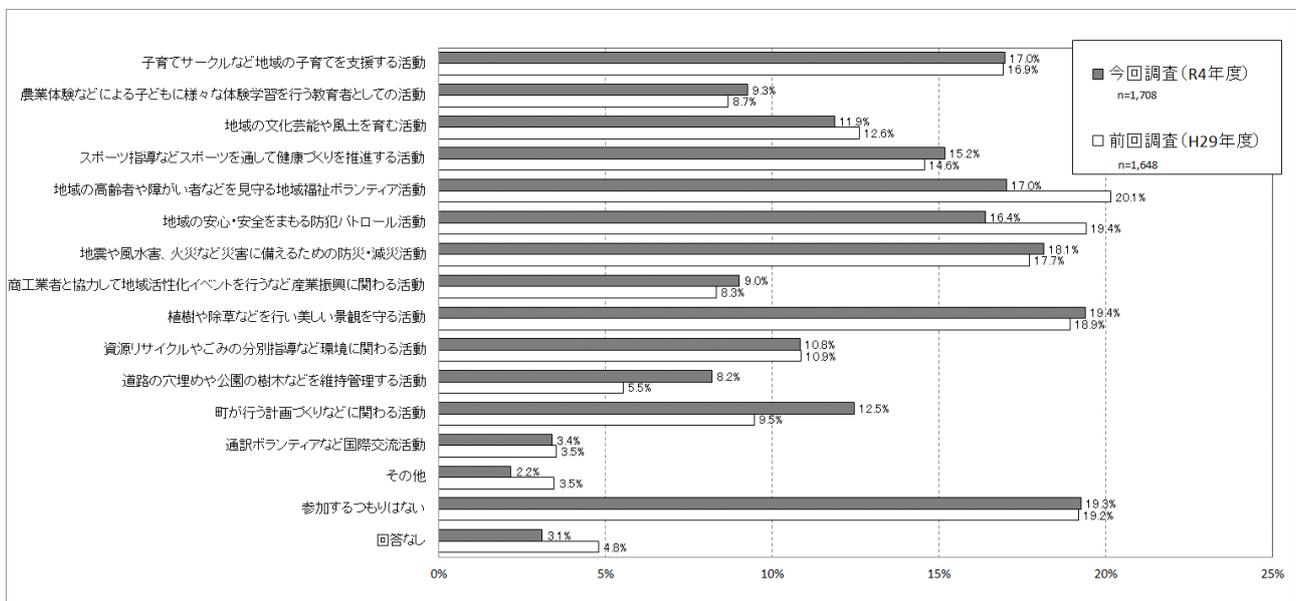
(3) 住民参加や住民主体のまちづくりを推進するために町として行うべきこと

○住民参加や住民主体のまちづくりを推進する上で、まちづくりに参加できる場や機会を提供することや、まちづくりの情報を提供することが望まれています。



(4) 地区を良くしていく活動への今後の参加意向

○今後の地区活動への参加意向については、「植樹や除草などを行い美しい景観を守る活動」、「地震や風水害、火災など災害に備えるための防災・減災活動」への意向が高くなっていますが、「参加するつもりはない」が約2割を占めています。



東浦町住民意識調査 令和4年 12月

発行／東浦町

編集／企画政策部 企画政策課

電話 0562-83-3111 (代) FAX 0562-83-9756

E-mail kikaku@town.aichi-higashiura.lg.jp